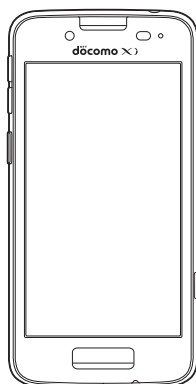
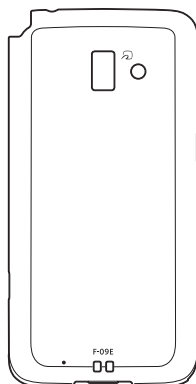


本体付属品

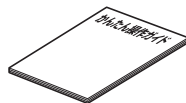
■ F-09E 本体(保証書付き)



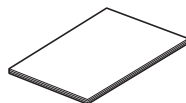
■ リアカバー F80



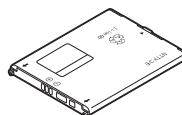
■ かんたん操作ガイド



■ らくらくスマートフォン プレミアムをお使いになる前に



■ 電池パック F30



■ 卓上ホルダ F42



□ その他のオプション品 → p.98

目次

■ 本体付属品	1
■ 本端末のご利用について	4
■ 安全上のご注意 (必ずお守りください)	5
■ 取り扱い上のご注意	10
■ 防水／防塵性能	14

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	17
ドコモminiUIMカード	18
microSDカード	18
電池パック	19
充電	20
電源ON／OFF	22
基本操作	22
初期設定	24
お知らせランプの見かた	24
ホーム画面	25
画面表示／アイコン	25
タスクマネージャ	27
ホームアプリの切り替えかた	27
アプリについて	27
らくらくホンセンター	30
使いかたガイド	30
どこでもヘルプ	30
文字入力	31

電話

電話をかける	34
電話を受ける	35
通話中の操作	35
発着信履歴	36
伝言メモ	36
通話メモ	37
ワンタッチダイヤル	37
電話の設定	37
電話帳	38
自分の電話番号	39

メール／インターネット

メール	40
パソコンメール	43
SMS	47
緊急速報「エリアメール」	48
インターネット	49

ファイル管理

赤外線通信	52
Bluetooth®通信	53
外部機器接続	55

アプリ

dメニュー	56
dマーケット	56
しゃべってコンシェル	56
Playストア	56
おサイフケータイ	57
テレビ	60
カメラ・ビデオ	63
アルバム	68
メディアプレイヤー	69
地図／GPS機能	69
メモ	72
スケジュール	72
目覚まし	73
お知らせタイマー	73
電卓	73
辞書	74
検索	74
ドコモバックアップ (SDカードバックアップ)	74
歩数計～からだライフ～	75

本体設定

設定メニュー	76
音声読み上げ	77
簡単モード切替	78
画面の設定	79
音・振動・タッチの設定	81
通信の設定	83
ロック／セキュリティ	87
SDカードパスワードの設定	90
アプリケーション	90
ドコモサービス	91
エコモードの設定	91
アカウント	91
保存領域	92
自分から設定	92
バックアップとリセット	93
端末情報	93
高度な設定	93

海外利用..... 94

国際ローミング (WORLD WING) の概要.....	94
海外で利用できるサービス.....	94
海外で利用する前の確認事項.....	94
海外で利用するための設定.....	95
滞在先で電話をかける／受ける.....	96
海外での発着信設定.....	97
帰国後の確認.....	97

付録／索引..... 98




オプション・関連機器のご紹介.....	98
トラブルシューティング (FAQ).....	98
スマートフォンあんしん遠隔サポート.....	102
本端末の初期化.....	102
保証とアフターサービス.....	102
ソフトウェア更新.....	104
主な仕様.....	106
携帯電話機の比吸収率 (SAR).....	108
輸出管理規制.....	110
知的財産権.....	111
SIMロック解除.....	112
索引.....	113

本端末のご利用について







- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDカードおよびパソコンに保存することをおすすめします。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末は i モードのサイト（番組）への接続、i アプリなどには対応していません。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合は、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。
- 本端末では、マナーモード中でも、シャッター音、写真撮影のオートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、BluetoothLE設定のFind Me通知音は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は、ホーム画面で「自分の電話番号」をプレスして確認できます。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信やサーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→p.104
- 端末の品質改善に対応したアップデートを行うことがあります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや端末のメモリ容量がいっぱいに近い状態のときに、起動中のアプリが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存しているデータを削除してください。
- 万が一紛失した場合は、パソコンメールで利用している各種アカウントを他人に利用されないように、パソコンからパスワード変更や無効化を行ってください。
- 紛失に備え画面ロックを設定し、端末のセキュリティを確保してください。→p.88
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしていません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、<http://www.nttdocomo.co.jp/> をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。


	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。


■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。


本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモ miniUIMカードの取り扱い（共通）	5
本端末の取り扱い	6
電池パックの取り扱い	7
アダプタ、卓上ホルダの取り扱い	8
ドコモ miniUIMカードの取り扱い	9
医用電気機器近くでの取り扱い	9
材質一覧	9


◆本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモ miniUIMカードの取り扱い（共通）


⚠危険

-  高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。


-  電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。


-  分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。


-  水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。防水性能についてはこちらをご参照ください。→ p.14「防水／防塵性能」


-  本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

-  強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

-  充電端子や外部接続端子、ステレオイヤホン端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

-  使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

-  ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（おサイフケータイ ロック設定を設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）



使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いまままで異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
 - 本端末の電源を切る。
 - 電池パックを本端末から取り外す。
- 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠️注意



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。



本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリや通話、ワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなる場合があります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

⚠️警告



赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。



赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。



ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内では本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。



ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠️注意



禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりとり握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者にて、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→p.9「材質一覧」



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

◆電池パックの取り扱い

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠️危険



禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒を持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。失明の原因となります。

⚠️警告



禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠️ 注意



一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆ アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠️ 警告



アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。



コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。



ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。



長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。



万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

◆ドコモminiUIMカードの取り扱い

⚠注意



ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

⚠警告



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

◆材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	フロントケース	PA-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアケース	PC+ABS-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアカバー	PC-GF樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
レシーバパネル		アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ホームボタン		PC樹脂／不連続蒸着＋アクリル系UV硬化塗装処理
ワンセグアンテナ	先端部	PC+ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	パイプ部	ステンレス鋼
	根元屈曲部	ニッケルチタン合金
	根元回転部	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
外側カメラ／赤外線ポート	パネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
電源ボタン、音量ボタン		アルミ合金／アルマイト塗装
外部接続端子キャップ		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
充電端子		PC樹脂＋ABS樹脂／金メッキ
電池パックF30	本体	PC樹脂
	端子部	ベリリウム銅／金メッキ
	ラベル	PET／黒色印刷文字
卓上ホルダF42	上下ケース	ABS樹脂
	スパーサー（L・R）、フロントフック、サイドレバー、充電端子（レバー）	POM樹脂
	充電端子（接点部）	りん青銅／金メッキ
	ゴム足	ポリウレタン
	外部接続端子	ステンレス鋼／錫（スズ）メッキ

取り扱い上のご注意

◆ 共通のお願い

- F-09Eは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。
 - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモ miniUIカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所での使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
 - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
 - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

◆ 本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押ししたり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
 - タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
 - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。
 - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
 - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
 - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
 - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆ 電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
 - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40%程度の状態をおすすめします。

◆ アダプタについてのお願い

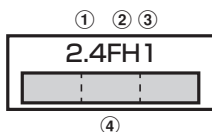
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を变形させないでください。
 - 故障の原因となります。


◆ ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れしないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。ようお願いします。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
 - 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② FH : 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④  : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」）と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆ 無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

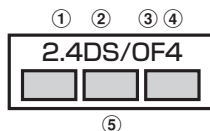
● 無線LANについて


電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が使用する周波数帯は、本端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤  : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHzでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

ドコモminiUIMカードが挿入されていない場合や挿入されていても圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャンネルおよび5GHz帯は使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末が日本で使用できる周波数とチャンネル番号は次のとおりです。


- 5.2GHz帯：5,180～5,240MHz（36、38、40、42^{*}、44、46、48Ch）
- 5.3GHz帯：5,260～5,320MHz（52、54、56、58^{*}、60、62、64Ch）
- 5.6GHz帯：5,500～5,700MHz（100、102、104、106^{*}、108、110、112、116、118、120、122^{*}、124、126、128、132、134、136、140Ch）

^{*} IEEE802.11acドラフト版に対応しています。今後の正式規格対応商品や他社のドラフト版対応商品とは通信できない場合があります。対応商品については次のサイトをご覧ください。
<http://www.fmworld.net/product/phone/wifi/>

◆FeliCaリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

◆注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電波通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定を受けており、その証として「技適マーク」が本端末の銘板シールに表示されています。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
本端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。
- FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

F-09Eは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けられた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- ※2 F-09EにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-09Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。(水中においてカメラ機能は使用できません。)
- ※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れておくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

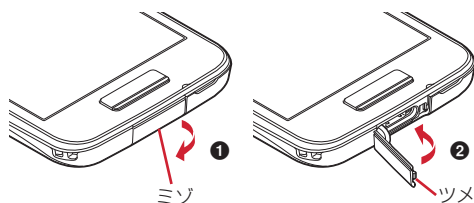
◆F-09Eが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話やワンセグ視聴ができます。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 常温の水道水で手洗いができます。
 - 外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 規定(→p.14)以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
 - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
 - 洗った後は所定の方法(→p.15)で水抜きしてください。
- 風呂場で使用できます。
 - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法(→p.15)で水抜きしてください。
 - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
 - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
 - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
 - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 外部接続端子を使用するときにはミゾに指先を掛けてキャップを開け(①)、使用後はツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください(②)。



- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「■取り付けかた」内で説明しています。→p.19
- リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、浸水の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口、スピーカーなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

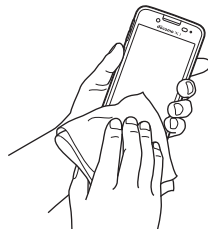
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。付属の卓上ホルダに本端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P.14）以上の強い水流を直接当てないでください。F-09EはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替ください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

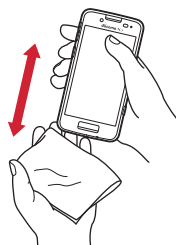
- ① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、ボタン、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
 - 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
 - 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

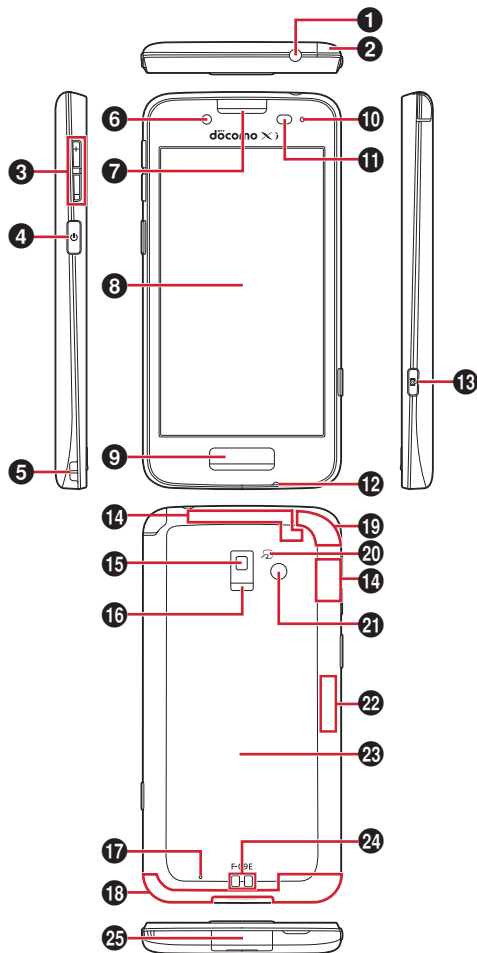
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



① ステレオイヤホン端子 (防水)

② ワンセグアンテナ

テレビ視聴時に伸ばします。

③ 音量ボタン (☒☒ボタン)

各種機能の音量を調節します。☒ボタンを1秒以上押し、マナーモードの設定/解除ができます。

④ 電源ボタン (⓪ボタン)

画面を消灯/点灯させます (スリープモードの切り替え)。長く押し、電源を入れる/切る、再起動、マナーモード、公共モード、機内モードの設定/解除ができます。

⑤ ストラップホール

⑥ 内側カメラ

⑦ 受話口/スピーカー

⑧ ディスプレイ (タッチパネル)

⑨ ホームボタン (☐ボタン)

アプリを終了してホーム画面に戻します。メディアプレイヤーなどアプリによっては、終了せずに起動した状態 (バックグラウンド動作) のままになる場合があります。長く押し、しゃべってコンシェルまたはGoogleの検索を起動できます。

⑩ お知らせランプ (着信ランプ)

⑪ 近接センサー/RGBセンサー

近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。RGBセンサーは周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節します。センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。

⑫ 送話口/マイク

⑬ カメラボタン (📷ボタン)

ホーム画面で長く押しとカメラが起動します。

⑭ Xiアンテナ部*

⑮ 外側カメラ

⑯ 赤外線ポート

⑰ 背面マイク

通話時に騒音を抑えるために使用します。ふさがないようにご注意ください。

⑱ Xi/FOMAアンテナ部*

⑲ GPS/Xiアンテナ部*

⑳ マーク

☒マークを読み取り機にかざしておサイフケータイとして利用できます。

㉑ フラッシュ

㉒ Bluetooth/Wi-Fiアンテナ部*

㉓ リアカバー

リアカバーを外して、電池パックを取り外すと、ドコモminiUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。

㉔ 充電端子

㉕ 外部接続端子

* 本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

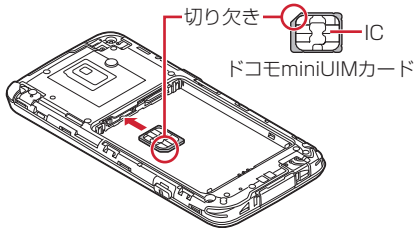
- 本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられないと、電話の発着信やSMSの送受信などの機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→p.19

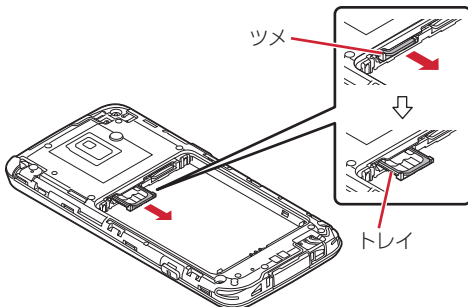
■ 取り付けかた

- ① ドコモminiUIMカードのIC面を上にして、ドコモminiUIMカードスロットに差し込む
 - 切り欠きの方向にご確認ください。



■ 取り外しかた

- ① トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す
- ② ドコモminiUIMカードを軽く押さえながら、矢印の方向へ引き出す
 - このときドコモminiUIMカードを下方方向に強く押し付けしないでください。



✓お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイは外れない構造になっています。トレイを引き出す際はトレイ引き出し位置（トレイが自然に止まる位置）を目安とし、無理に引き出さないでください。トレイが破損する恐れがあります。

◆ ドコモminiUIMカードの暗証番号

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.88

microSDカード

◆ microSDカードについて

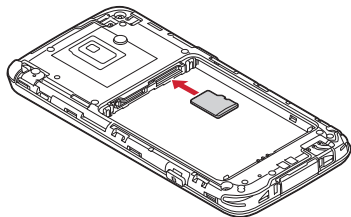
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、64GBのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2013年10月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10に対応しています。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。
→p.19

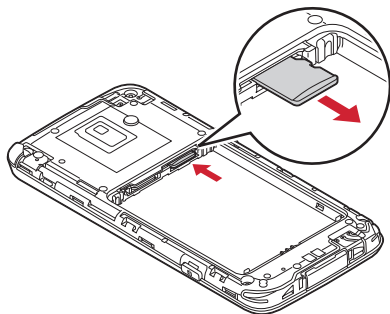
■ 取り付けかた

- ① microSDカードの金属端子面を下にして、microSDカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む
 - microSDカードの向きにご注意ください。



■ 取り外しかた

- ① microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す



✓お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

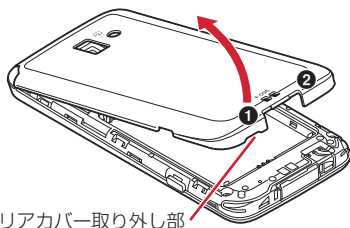
電池パック

◆ 電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないように、手に持って行ってください。
- 本端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外してください。
- 本端末専用の電池パック F30をご利用ください。

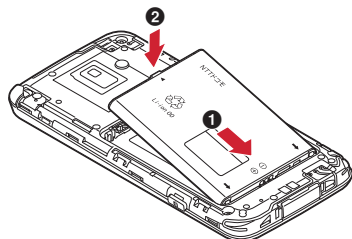
■ 取り付けかた

- ① リアカバー取り外し部に指先をかけ、リアカバー裏のツメを①、②の順番で外してから、リアカバーを矢印の方向に取り外す



リアカバー取り外し部

- ② 電池パックのラベルの矢印面を上にして、電池パックの金属端子を本端末の金属端子に合わせて①の方向に差し込みながら、②の方向に取り付ける



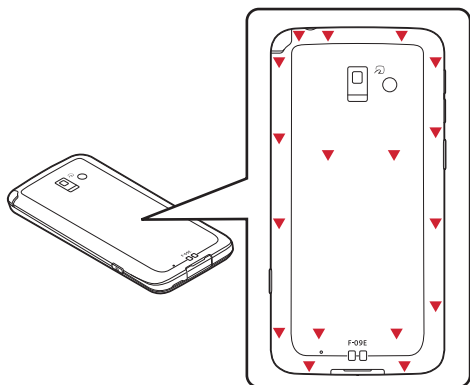
- ③ リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する

④ リアカバー裏のツメと本端末のミゾを合わせて

▼ 部分をしっかりと押し、完全に閉める

- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

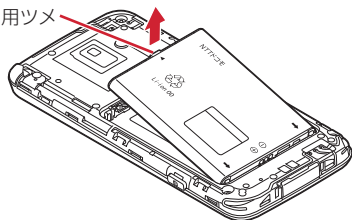
※「防水／防塵性能」について→p.14



■ 取り外しかた

- ① 電池パックの取り付けの操作①を行う
- ② 電池パックの取り外し用ツメをつまんで、矢印の方向に持ち上げて取り外す

取り外し用ツメ



充電

❖ 充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがありますが、本端末の異常ではありません。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 次の場合は充電エラーになり、お知らせランプが消灯します。充電可能な状態になると、再度充電を開始します。
 - 充電器の電圧が充電可能な範囲外になった
 - 電池パックまたは端末の温度が充電可能な範囲外になった
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせランプが消灯します。充電器から取り外して、充電し直してください。
- 電池パックの電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせランプが点滅します。充電器から取り外すか電池パックを取り外して、充電し直してください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 電池パックを一度取り外し、再度取り付けた直後には、電池残量が正しく表示されない場合があります。繰り返し使用することで、電池残量表示が補正されます。
- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→p.106

❖ 電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら、通話などを長時間行くと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくとつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。



Li-ion 00

◆ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 03 (別売) / ACアダプタ 04 (別売) / ACアダプタ F05 (別売) / ACアダプタ F06 (別売) : AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

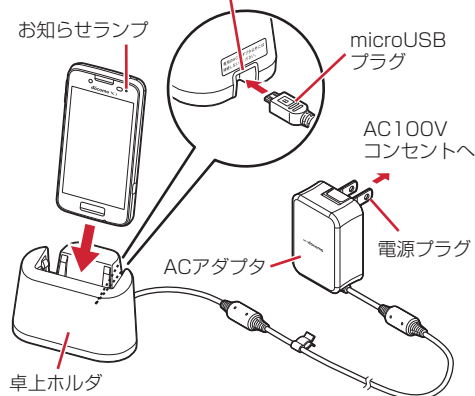
DCアダプタ 03 (別売) : 自動車の中で充電する場合に使用します。

◆卓上ホルダを使って充電

付属の卓上ホルダ F42と別売りのACアダプタ 04を使用した場合で説明します。

- ① ACアダプタのmicroUSBプラグを、Bの刻印面を上にして卓上ホルダ裏側の外部接続端子へ水平に差し込む
- ② 本端末を卓上ホルダに差し込む
 - 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。
- ③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中はお知らせランプが赤く点灯します。お知らせランプが点灯しない場合には、点灯するまで本端末を卓上ホルダに押し込んでください。
 - 充電が完了するとお知らせランプが消灯します。
- ④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、本端末を卓上ホルダから取り外す
- ⑤ 卓上ホルダからmicroUSBプラグを抜く

裏側の外部接続端子に差し込む



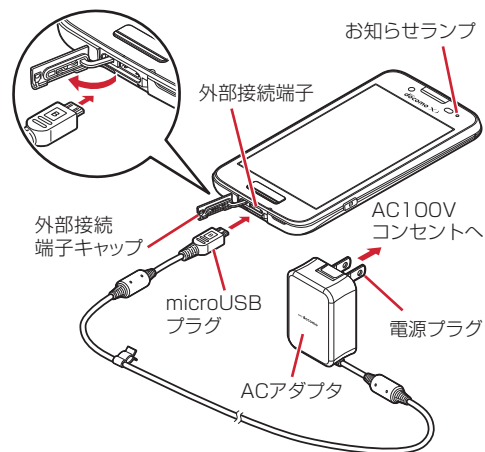
✓お知らせ

- 本端末と卓上ホルダの間にストラップの紐などを挟み込まないようにしてください。
- 卓上ホルダ F42の入力規格は5.0V 1.5Aですが、ACアダプタ 04 (出力5.0V 1.8A) と組み合わせてお使いいただくことができます。
- 卓上ホルダには指定のACアダプタ以外は接続しないでください。

◆ACアダプタを使って充電

別売りのACアダプタ 04を使った場合で説明します。

- ① 本端末の外部接続端子キャップを開け (→p.14)、ACアダプタのmicroUSBプラグを、Bの刻印面を上にして外部接続端子に水平に差し込む
- ② ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中はお知らせランプが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
- ③ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- ④ 本端末からmicroUSBプラグを抜き、本端末の外部接続端子キャップを閉じる



◆パソコンを使って充電

別売りのPC接続用USBケーブル T01などで接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

電源 ON / OFF

◆電源を入れる

- 1 お知らせランプが緑色に点灯して同時に振動するまで **⓪** ボタンを押し続ける(2秒以上)

起動画面に続いて誤操作防止用のトップ画面が表示されます。

- 2 トップ画面で下から上方向にスライド

- 端末エラー情報送信の確認画面が表示された場合は [OK] を押します。

■初めて電源を入れたときは

初期設定(本端末を使う前の準備)を行った後、ドコモサービスの初期設定を行います。それぞれ画面の案内に従って操作してください。→p.24

◆トップ画面について

トップ画面は誤操作を防ぐための画面です。



- 1 トップ画面で下から上方向にスライド
ホーム画面が表示されます。

✓お知らせ

- トップ画面は、消灯までの時間の設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。

◆ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、消灯までの時間に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。

- 1 **⓪** ボタン

スリープモードが解除され、トップ画面が表示されます。

手動でスリープモードにする: **⓪** ボタン

✓お知らせ

- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆電源を切る

- 1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで **⓪** ボタンを押し続ける
- 2 [電源を切る] ▶ [OK]
振動して電源が切れます。
再起動: [再起動] ▶ [OK]

基本操作

◆タッチパネルの使いかた

本端末はタッチパネルを指で直接触れて操作します。

◆タッチパネル利用上のご注意

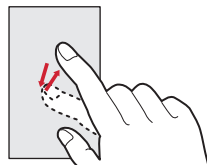
タッチパネルは、指の腹を使って操作するように設計されています。強い力で押したり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に寄せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼った操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- 水中での操作

◆プレス

画面に軽く触れてからそのまま押し込み、指を離します。押し込んだ時点で操作が有効になります。



- アプリによっては、画面を長めに押し込む操作(ロングプレス)があります。
- お買い上げ時は、画面に軽く触れるとプレスできるアイコンやメニューなどの色や枠が変化し、さらにプレスすると振動が指先に伝わる設定になっています。らくらくタッチの設定(→p.82)で動作を変更することができます。
- らくらくタッチの設定が無効の場合は、画面に軽く触れてから離します(タッチ)。画面から指を離れた時点で操作が有効になります。

- 一部アプリやインターネットサイト閲覧など、画面によっては次のように、らくらくタッチの設定に従って動作しない場合があります。
 - らくらくタッチの設定を有効に設定していても、プレスの動作にならない
 - らくらくタッチの設定を有効に設定していても、プレス時に振動しない
 - アイコンやメニューなどをプレスしても、色や枠が変化しない
 - アイコンやメニューなどをプレスしたとき、色や枠に変化はないが、振動する
- 表示された画面以外の空き領域をプレスすると、キャンセルの動作になる場合があります。
- ダウンロードしたアプリの画面ではらくらくタッチの設定がオフに設定されています。設定はオンに変更できます。→p.82

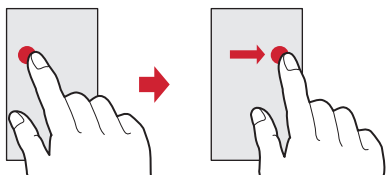
◆スライド（スワイプ）／ドラッグ／パン

スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

- 画面によっては同じ場所を0.5秒以上触れ続けると、スライド操作によるスクロール動作が固定されます。画面から指を離すことで、固定を解除することができます。

ドラッグ：画面の項目などに指を触れたまま、目的の位置に動かします。

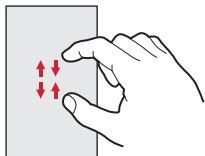
パン：画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

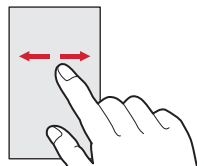
◆ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



◆フリック

画面に触れた指をすばやく払います。



◆縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→p.80）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 ボタンと ボタンを同時に押す（1秒以上）

◆画像を確認する

- 通知パネルを開いてスクリーンショットの通知をプレスしても画像を確認できます。

1 ホーム画面で[アルバム]

2 [Screenshots]

初期設定

初めて電源を入れたときは、本端末を使う前の準備を行う画面（初期設定）が表示されます。

- 設定は後から変更することもできます。
- 初期設定に含まれる設定を行わずに電源を切った場合は、電源を入れ直したとき、未設定の項目が再び表示されます。
- ドコモminiUIカードを取り付けずに電源を入れると、「日付と時刻」の設定が表示されます。また、ドコモサービスの初期設定は表示されません。

1 携帯電話を使う前の準備画面で[次へ]

- [Googleアカウント] をプレスすると、初期設定の前にGoogleアカウントの新規作成ができます。アカウントの作成について、詳しくは「アカウントの追加」(→p.91)をご覧ください。

2 画面の案内に従って、音声読み上げの設定

▶自分から設定 ▶暗証番号の設定を行う

音声読み上げ設定: 画面の情報や操作を音声で読み上げる機能を有効にするかを設定します。→p.77

自分から設定: 自分から設定の基本情報を設定します。→p.92

暗証番号: セキュリティロックを利用するとき使用する暗証番号を設定します。→p.88

- お買い上げ時は暗証番号が「0000」に設定されています。変更する場合は暗証番号の入力画面で「0000」を入力した後、新しい暗証番号を入力してください。

3 ソフトウェア更新機能の確認画面で[次へ]

4 画面の案内に従って、ドコモサービスの初期設定を行う

アプリ一括インストール: 契約中のドコモサービスに必要なアプリを一括でインストールすることができます。

おサイフケータイの利用: おサイフケータイを利用するための設定を行います。

ドコモアプリパスワードの設定: ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。

- お買い上げ時はドコモアプリパスワードが「0000」に設定されています。

位置提供設定: 位置情報サービス機能の設定を行います。

◆ その他の初期設定について

初期設定の項目以外にも、必要に応じて、次の項目を設定してください。

- Wi-Fi機能の設定→p.84
- アクセスポイント (APN) の設定→p.83

お知らせランプの見かた

充電中や不在着信など、本端末の状態をお知らせランプの点灯や点滅で通知します。

■ 主な通知の種類と点灯／点滅について

電源ON	緑 1回点灯
充電中	赤 点灯
充電異常	赤 点滅
メール着信	青 (カラー3) ※
電話着信、不在着信、新着通知 (伝言メモ)、留守番電話サービス (伝言メッセージ、着信通知)	緑 (カラー2) ※
新着SMS	青
お知らせタイマー	白

※ お買い上げ時の設定色です。アプリの設定や動作によって異なります。

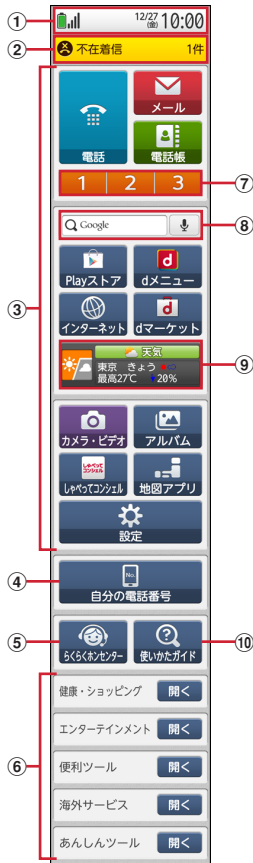
ホーム画面

ホーム画面とは、アプリを使用するためのスタート画面です。

◆ホーム画面の見かた【標準】

ホーム画面は、画面を上下にスライドして操作します。

- ボタンを押すと、ホーム画面の一番上の位置に戻ります。



① ステータス表示エリア→p.26

ステータスアイコン、通知アイコン、日付と時刻が表示されます。トップ画面下部にも表示されます。

- ホーム画面のステータス表示エリアをプレスすると、通知パネル(→p.26)が表示されます。

② 新着通知→p.27

電話の不在着信や伝言メモ、メールの着信などがあるときに通知されます。トップ画面下部にも表示されます。

③ 基本アプリ→p.27

よく使うアプリは、ここから直接起動します。

④ 自分の電話番号→p.39

ご利用の電話番号を確認できます。

⑤ らくらくホンセンター→p.30

らくらくホンセンターへ電話できます。

⑥ カテゴリ別アプリ→p.28

基本アプリ以外のアプリは、ここから一覧を表示して起動します。

⑦ ワンタッチダイヤル→p.37

よく連絡する相手を登録しておく、簡単に電話したりメールを作成したりできます。

⑧ Google検索

⑨ i チャネル

情報配信サービス「i チャネル」のウィジェットです。i チャネルを契約していない場合、情報は表示されません。

⑩ 使いかたガイド→p.30

使いかたガイドを起動します。

✓お知らせ

- i チャネル、ワンタッチダイヤルは表示するかどうかを変更できます。→p.79「ホーム画面の設定」

画面表示 / アイコン

◆ステータスバーについて

ステータスバーには、本端末の現在の状態を示す「ステータスアイコン」と、本端末からの通知を表示する「通知アイコン」が表示されます。

- アプリによっては、ステータスバーが表示されないことがあります。

ステータスアイコン 通知アイコン



■主なステータスアイコン

※: 電池残量80~100% (十分)

※: 電池残量31~79%

- 31~79%にかけて、残量表示(緑の範囲)が変化します。

※: 電池残量16~30% (少ない)

※: 電池残量5~15% (ほとんどない)

※: 電池残量0~4% (要充電)

※: 電池残量 (充電中)

※: 電波状態

※: 圏外

※: ローミング中

※: LTE通信中 / 使用可能

※: 3G通信中 / 使用可能

※: GSM通信中 / 使用可能

※: 機内モード

- ※: マナーモード
- ※: 公共モード (ドライブモード)
- ※: おサイフケータイ ロック設定中
- ※: 新着メール (spモードメール、メッセージR、SMS)
- ※: 新着メール (パソコンメール)
- ※: 不在着信
- ※: 留守番電話サービスの伝言メッセージ
- ※: 伝言メモオン
- ※: 未確認の伝言メモあり
- ※: Wi-Fi接続中
- ※: Bluetooth機能オン
- ※: Bluetooth機器接続中
- ※: スピーカーフォンオン
- ※: 着信音量0
- ※: 着信時の振動オン
- ※: 着信音量0で着信時の振動オン
- ※ ホーム画面のステータス表示エリアにも表示されるアイコン

■ 主な通知アイコン

- ※: 新着Gmail
- ※: 新着エリアメール
- ※: SMSの送信失敗
- ※: Wi-FiがオンでWi-Fiネットワークが利用可能
- ※: 通話中
- ※: 通話保留中
- ※: データのアップロード完了/ダウンロード完了
- ※: Google Playなどからのアプリがインストール完了/Google Playのアプリがアップデート可能
- ※: エラーメッセージあり
- ※: GPS測位中
- ※: イヤホン接続中 (端末のマイクからの入力)
- ※: イヤホン接続中 (イヤホンマイクからの入力)
- ※: ワンセグ受信中
- ※: 目覚まし設定中
- ※: スクリーンショットで画像を保存中
- ※: 声の宅配便 (メッセージ受信あり、再生完了通知あり)
- ※: ソフトウェア更新あり/完了/継続不可
- ※: おまかせロック設定中
- ※: 本端末のメモリの空き容量低下
- ※: USB接続中 (ステータス表示エリアのみに表示)

◆ ステータス表示エリアについて

ホーム画面の上部とトップ画面の下部に表示されます。ステータスバーに表示されるステータスアイコンや通知アイコンの一部が表示されます。

ステータスアイコン 通知アイコン



- 表示されるアイコンはステータスバーのアイコンと同じですが、アイコンによっては表示されないものや、白黒反転して表示されるものがあります。
- 通知アイコンは、ステータス表示エリアに2つまで表示されます。3つ以上通知アイコンがある場合は、 (隠れた通知アイコンあり) が表示されます。
- ステータス表示エリアをプレスすると、通知パネルが表示されます。通知アイコンの内容は通知パネルで確認することができます。

◆ 通知パネル

通知パネルを表示すると、「簡単モード切替」の設定を行ったり、通知アイコンの内容を確認したりすることができます。

- 簡単モード切替については、「簡単モード切替」をご覧ください。→p.78

1 ホーム画面のステータス表示エリアをプレス



- 各通知をプレスすると、通知内容を確認できます。
- [通知を消去] をプレスすると、通知が消去されます。通知内容によっては、[通知を消去] が表示されない場合があります。
- すべての通知が表示されていないときは、画面をスクロールすることで確認できます。
- [閉じる] をプレスすると、通知ウィンドウが閉じます。

✓お知らせ

- トップ画面のステータス表示エリアをプレスしても、通知パネルは表示されません。

◆新着通知

不在着信や新着メールなどがあるときのみ、ホーム画面、トップ画面に新着通知が表示されます。ホーム画面の新着通知から通知の内容を確認することができます。

- 不在着信、着信通知、新着メール、新着SMS、伝言メモ、留守番メッセージ、らくらくコミュニティからの新着お知らせ（投稿へのコメント、ともしち申請など）、新着パソコンメールが、新着通知として表示されます。

1 ホーム画面の新着通知をプレス

関連するアプリが起動します。

■異なる種類の新着通知がある場合

[新着あり]と表示されます。プレスすると、新着通知が一覧で表示されます。各通知をプレスすると、関連するアプリが起動します。



タスクマネージャ

□ ボタンを押すなどしてアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能より実行中のアプリを表示したり、終了したりできます。

1 ホーム画面で[便利ツール]を開く▶[タスクマネージャ]

実行中のアプリが表示されます。

- [表示] をプレスするとアプリが表示され、[終了] をプレスするとアプリが終了します。
- [すべて終了] をプレスすると、実行中のアプリをすべて終了します。

ホームアプリの切り替えかた

□ ボタンを押して表示される画面（ホーム画面）を変更します。

1 ホーム画面で[設定]▶[画面の設定]▶[ホーム画面切替]

2 切り替えるホームアプリを選択

アプリについて

本端末に登録されているアプリを起動します。アプリは「基本アプリ」と「カテゴリ別アプリ」に分類されます。

- お買い上げ時に登録されているアプリは削除できません。お買い上げ時に登録されているアプリをアップデートした場合は、アップデートしたデータを削除して、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
- 本端末では、spモードメール、iチャネルなど、当社の指定するアプリのほか、Google Playからアプリをダウンロードしてご利用いただくことができます。
- アプリによっては、別途お申し込み（有料）が必要なものがあります。

◆基本アプリ

よく使うアプリ「基本アプリ」はホーム画面から起動できます。

1 ホーム画面でアプリをプレス

アプリが起動します。



✓お知らせ

- 基本アプリの表示位置は、一部変更できるものがあります。→p.79
- 未読のメール/SMSがある場合は、メールアプリの右上に未読件数が表示されます。

◆基本アプリ一覧

- 電話**：電話をかけたり、通話履歴の確認を行うことができます。→p.34
- メール**：ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能です、自動受信にも対応しています。→p.40
- 電話帳**：電話番号やメールアドレスなどを登録でき、電話帳から簡単な操作で連絡できます。→p.38
- ワンタッチダイヤル**：よく連絡する相手を登録しておく、電話やメールが簡単にできます。→p.37
- Google検索**：本端末内の機能やWebサイトを検索します。
- Playストア**：Google Playにアクセスして、アプリのダウンロードやインストールなどができます。
- dメニュー**：iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。→p.56
- インターネット**：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→p.49
- dマーケット**：自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。
- iチャンネル**：iチャンネルを利用するためのウィジェットです。
- カメラ・ビデオ**：写真を撮影します。メニューから撮影モードを切り替えて、パノラマ撮影やビデオ録画、拡大鏡を利用できます。→p.64
- アルバム**：カメラで撮影したり、Webページからダウンロードした静止画や動画を表示できます。→p.68
- しゃべってコンシェル**：「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。
- 地図アプリ**：現在地の表示や周辺の検索、経路検索などを行います。→p.70
- 設定**：本端末の各種設定を行います。→p.76
- 自分の電話番号**：ご利用の電話番号を確認できます。→p.39
- らくらくホンセンター**：らくらくホンセンターへ電話することができます。→p.30
- 使いかたガイド**：本端末の使いかたガイドです。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。→p.30

◆カテゴリ別アプリ

基本アプリ以外のアプリ「カテゴリ別アプリ」は、カテゴリに分けられた一覧を表示してから起動します。

1 ホーム画面で【健康・ショッピング】／【エンターテインメント】／【便利ツール】／【海外サービス】／【あんしんツール】のいずれかの【開く】をプレス

カテゴリが開いて、アプリの一覧が表示されます。



- アプリ一覧を表示させない場合は「閉じる」をプレスします。

2 アプリをプレス

アプリが起動します。

✓お知らせ

- カテゴリ別アプリの並び順の変更→p.79
- ダウンロードしたり、外部からアプリをインストールした場合、「ダウンロードアプリ」のカテゴリが追加され、アプリは「ダウンロードアプリ」カテゴリに配置されます。


◆カテゴリ別アプリ一覧


■健康・ショッピング


- 血圧手帳**：朝晩の血圧（服薬情報含む）・歩数・体重・睡眠時間のデータを毎日記録・管理でき、対応の健康機器があれば、簡単からだのデータを転送することができます。
- 歩数計**：本端末に搭載された機能を使って、毎日の歩数や睡眠状態を楽しく管理する健康支援サービスです。→p.75
- おサイフケータイ**：お店などの読み取り機に端末をかざすだけでお支払いなどができます。→p.57
- トルカ**：トルカの取得、表示、検索、更新などができます。→p.59


■エンターテインメント


- テレビ**：ワンセグを視聴します。→p.60
- You Tube**：YouTubeの動画が見られます。
- らくらくコミュニティ**：いろいろな人と共通の趣味や話題を通じて交流できるインターネット上のコミュニケーションの場です。
- メディアプレイヤー**：音楽や動画を再生することができます。→p.69
- dブックマイ本棚**：dマーケットのdブックで購入した本を手軽に読めるブックビューアです。


 **俳句・写真くらぶ**：作った俳句や写真などを投稿したり、他の人が作った作品を閲覧することができます。


 **ゲーム**：「Break Dice」「ソリティア」「将棋ウォーズ」など、頭の体操にも役立つ、じっくり遊べるゲームを提供しています。

 **i チャンネル**：i チャンネルを利用するためのアプリです。


 **ギャラリー**：カメラで撮影したり、Webページからダウンロードして、microSDカードや本体メモリに保存した静止画や動画を表示できます。


 **Playムービー**：映画をレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。


 **Playブックス**：ダウンロードした電子書籍を閲覧できます。


 **Playミュージック**：音楽を再生します。


■ 便利ツール

 **乗換案内**：乗換案内を簡単に呼び出すことができます。


 **マップ**：現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。


 **タスクマネージャ**：実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。→ p.27


 **目覚まし**：目覚ましを設定します。眠りの浅いときに鳴動するスッキリ目覚ましも設定できます。→ p.73


 **スケジュール**：スケジュールを作成・管理できるアプリです。→ p.72


 **電卓**：加算、減算などの計算ができます。→ p.73


 **辞書**：広辞苑などの電子辞書です。→ p.74


 **メモ**：メモを作成・管理できるアプリです。


 **お知らせタイマー**：タイマーを利用できます。→ p.73


 **ボイスレコーダー**：音声を録音できます。


 **赤外線**：電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。→ p.52


 **QRコード読み取り**：QRコードを読み取り、利用できます。→ p.67

 **拡大鏡**：カメラを利用し、本端末を拡大鏡として使うことができます。→ p.66


 **声の宅配便**：音声メッセージを録音して相手に届けたり、相手からの音声メッセージを再生することができるアプリです。


 **パソコンメール**：パソコンで使用しているメールを取り込んで利用できます。→ p.43


 **Document Viewer**：パソコンで作成した文書を読めます。


 **パソコン転送**：本端末内の写真や動画、歩数／活動量をパソコンに取り込むことができます。


・「パソコン転送」を行うには、「スマホ受信」搭載のパソコンが必要です。「スマホ受信」のダウンロードや対応機種などについては、パソコンから次のホームページをご覧ください。
FMWORLD (<http://www.fmwworld.net/soft/rt/>)


 **Google**：キーワードで本端末内の機能やWebサイトを検索します。→ p.74


 **Google+**：大量のデータ（メールや連絡先、写真、オフィス文書など）を、さらに活用するためのSNS機能を利用できます。


 **Google設定**：Googleの各サービスの設定をまとめて行うアプリです。


 **Gmail**：GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Googleアカウントのメールを送受信できます。

 **Chrome**：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。


 **予定表**：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。


 **トーク**：Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。本端末のGoogleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。


 **ナビ**：Googleマップナビを利用して、目的地までのルートを検索できます。

 **音声検索**：端末に向かって話すだけでGoogle検索が利用できます。

■ 海外サービス

 **はなして翻訳**：まるで通訳がいるかのように、言語の異なる相手とスムーズな会話ができるサービスです。

 **うつつ翻訳**：海外の街中で気になった標識・案内板・飲食店のメニューなどの文字に向かってポイントを合わせるだけで、狙った文字が日本語に翻訳されて表示されます。

 **ドコモ海外利用**：海外でのパケット通信利用をサポートするアプリです。データローミング設定や海外パケ・ホーダイを利用する際の対象事業者設定を簡単に行うことができます。

■ あんしんツール

お客様サポート：本端末を使っていてお困りのことの解決方法や、用語集などを調べることができます。

遠隔サポート：「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフで遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→p.102

災害用キット：災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。

あんしんスキャン：端末をウイルス被害から守るアプリです。インストールしたアプリやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出します。

ドコモバックアップ：「ケータイデータお預かりサービス」もしくは「SDカードバックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。→p.74

◆ ウィジェット

ウィジェットとは、画面に貼り付けて利用するアプリのことです。ウィジェットを設定すると、ホーム画面の一番下にウィジェット表示エリアが追加されて表示されます。

1 ホーム画面で**[設定]** ▶ **[画面の設定]**

2 **[ホーム画面の設定]** ▶ **[ウィジェットの表示]**

3 目的の操作を行う

ウィジェットを貼り付ける：[ウィジェットを貼る] ▶ **ウィジェットを選択** ▶ **[OK]**

ウィジェットをはがす：[ウィジェットをはがす] ▶ **ウィジェットを選択** ▶ **[OK]**

並び順の編集：[並び順の編集] ▶ **ウィジェットを選択** ▶ **貼り付ける位置をプレス** ▶ **[OK]**

• 水色で表示されたエリアに並び替えることができます。

らくらくホンセンター

本端末の使いかたが分からないときに、簡単な操作でらくらくホンセンターに電話をかけて確認することができます。

らくらくホンセンターとは

各種手続き、お問い合わせなどのご用件をアドバイザーが直接お答えする受付センターです。らくらくホンセンターに電話した際の通話料はかかりません。

受付時間 午前9：00～午後8：00（年中無休）

1 ホーム画面で**[らくらくホンセンター]**

2 **[電話する]**

らくらくホンセンターに電話がかかります。

使いかたガイド

本端末の使いかたが分からないときに、簡単な操作で使いかたガイドを起動して調べることができます。

• コンテンツアップデートの確認画面が表示された場合は、スライドして内容を確認した後、[実行する] ▶ **[OK]** をプレスしてください。

1 ホーム画面で**[使いかたガイド]**

2 目的の操作を行う

目次から検索：機能別に分けられた目次から検索します。

索引から検索：50音順の機能名から検索します。

キーワード検索：調べたい用語などを入力して検索します。

ブックマーク：ブックマークに登録した項目から検索します。

このアプリの使いかた：このアプリの使いかたを確認します。

アップデート：コンテンツを最新にすることができます。

どこでもヘルプ

アプリの利用中に、簡単な操作で機能の説明（ガイド）を読むことができます。

1 アプリ利用中に画面右上の**[?]**

• **[?]**は、画面によって色が異なる場合があります。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

◆入力方法

テンキーキーボード、手書き入力、音声入力での文字を入力します。

◆テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。入力したい文字が割り当てられているアイコンを、目的の文字が表示されるまで続けてプレスします。



<ひらがな／漢字入力の場合>

文字入力を開始すると、表示が変わるアイコンがあります。

① **文字**：文字切替メニューの表示

文字切替メニューを表示すると、次の操作ができます。

あいう：ひらがな／漢字入力に切り替え

アイウ：カタカナ入力に切り替え

ABC：英字入力に切り替え

1 2 3：数字入力に切り替え

記号：記号一覧の表示

絵文字：絵文字一覧の表示

顔文字：顔文字一覧の表示

閉じる：文字切替メニューを閉じる

変換：文字の変換

② カーソルを左に移動

③ カーソルを右に移動

④ カーソルの右側の文字を削除

カーソルの右側に文字がない場合は左側の文字を削除します。

⑤ **機能**：機能メニューに切り替え→p.31

゛ っ：濁音付きの文字／半濁音付きの文字／拗音／促音に変換

A/a：英字入力時の大文字と小文字の切り替え

⑥ **↵改行**：改行

決定：文字の確定

■機能メニュー

音声入力：音声入力の起動

手書き入力：手書き入力に切り替え

定型文：定型文一覧の表示

引用：引用先選択画面の表示（電話帳／マイプロフィールのデータを引用）

コピー：文字のコピー

切り取り：文字の切り取り

貼付け：文字の貼り付け

カーソル：カーソル移動画面の表示

閉じる：機能メニューを閉じる

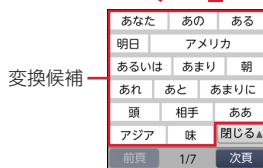
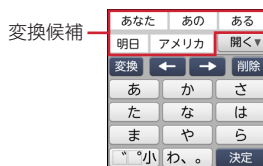
設定：文字入力設定画面の表示

■文字変換

1 文字を入力

変換候補が表示されます。

「開く▼」をプレスすると、テンキーキーボード全体に変換候補が表示されます。



テンキーキーボード全体に変換候補を表示中は、[前頁] / [次頁] をプレスして前ページ / 次ページの変換候補を表示できます。

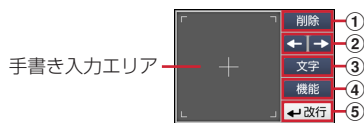
「閉じる▲」をプレスすると、「開く▼」をプレスする前の画面に戻ります。

2 変換する文字をプレス

❖ 手書き入力

手書きで文字を入力します。

1 文字入力画面で[機能] ▶ [手書き入力]



- ① カーソルの右側の文字を削除
 - ・カーソルの右側に文字がない場合は左側の文字を削除します。
- ② ← : カーソルを左に移動
 - ・**訂正** をプレスして表示される訂正候補では、前の文字の訂正候補を表示します。
 - : カーソルを右に移動
 - ・文字入力後にプレスして次の文字を入力します。
 - ・**訂正** をプレスして表示される訂正候補では、後の文字の訂正候補を表示します。
- ③ 文字切替メニューの表示 → p.31
- ④ **機能** : 機能メニューに切り替え → p.31
 - 訂正** : 訂正候補の表示
 - 戻る** : **訂正** をプレスする前の画面に戻る
- ⑤ ←改行 : 改行
 - 決定** : 文字の確定

❖ 音声入力

音声で文字に変換して入力します。

1 文字入力画面で[機能] ▶ [音声入力] ▶ 言葉を発声

- ・初回起動時は [ご利用上の注意] が表示されます。確認後は [OK] をプレスしてください。



- ・**☰** をプレスすると、音声入力の使いかた、アプリ情報、オープンソースライセンスを確認できます。

2 認識結果を確認 ▶ [決定]

- ・発声した言葉が正しく認識されない場合は、[やり直す] をプレスすると再度発声できます。

❖ 入力方法の切り替え

■ テンキーキーボードから手書き入力に切り替え

1 テンキーキーボード表示中に[機能] ▶ [手書き入力]

■ 手書き入力からテンキーキーボードに切り替え

1 手書き入力画面表示中に[文字] ▶ [あいう] / [アイウ] / [ABC] / [123]のいずれかをプレス

◆ 便利な入力機能

絵文字／顔文字／記号／定型文から入力や、電話帳／マイプロフィールから引用、文字のコピー／切り取り／貼り付けができます。

❖ 記号／絵文字／顔文字／定型文の入力

- ・文字入力画面によっては、絵文字は入力できません。

1 文字入力画面で[文字] ▶ [記号] / [絵文字] / [顔文字]のいずれかをプレス

定型文の入力 : 文字入力画面で [機能] ▶ [定型文] ▶ カテゴリを選択



< 絵文字の入力の場合 >

- ① 左端にはタイトル、右端にはページ数が表示されます
 - ・最近入力した記号／絵文字／顔文字の履歴が1ページ目に表示されます。
 - ・絵文字Dの場合は、カテゴリ名、ページ数、カテゴリの切り替えアイコン (◀ / ▶) が表示されます。最近入力した絵文字Dは履歴のカテゴリに表示されます。
- ② 記号／絵文字／顔文字／定型文一覧を閉じる
- ③ **絵文字** / **絵文字D** : 絵文字と絵文字Dの切り替え
- ④ 前のページに移動
- ⑤ 次のページに移動

2 記号／絵文字／顔文字／定型文を選択

◆電話帳／マイプロフィールの引用

電話帳やマイプロフィールのデータを引用して入力します。

- 1 文字入力画面で[機能] ▶ [引用] ▶ [電話帳] / [マイプロフィール]
- 2 データを選択 ▶ [決定]

◆文字のコピー／切り取り／貼り付け

文字のコピーや切り取り、貼り付けができます。

・暗証番号を入力する画面では、コピー／切り取り／貼り付けの操作はできません。パスワードを入力する画面では、コピー／切り取りの操作はできません。

■文字のコピー／切り取り

- 1 文字入力画面で[機能]
- 2 [コピー]または[切り取り]
- 3 コピーまたは切り取り開始位置にカーソルを移動して[開始選択]
 - ・ [文頭] / [文末] : カーソルを文頭／文末に移動
 - ・ [↑] / [↓] / [←] / [→] : カーソルを上下左右に移動
- 4 コピーまたは切り取り終了位置にカーソルを移動して[決定] ▶ [OK]

■文字の貼り付け

- 1 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソルを移動
- 2 [機能] ▶ [貼付け]

◆文字入力の設定

◆単語登録

よく使う単語をあらかじめ登録しておく、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

- 1 文字入力画面で[機能] ▶ [設定]
- 2 [よく使う単語を登録]
- 3 [新規登録]
登録単語を修正 : 単語をプレス ▶ [修正する]
- 4 [単語]に単語を入力 ▶ [決定]
- 5 [よみ]に読みかたを入力 ▶ [決定]
- 6 [完了] ▶ [OK]

■単語の削除

- 1 文字入力画面で[機能] ▶ [設定]
- 2 [よく使う単語を登録]
- 3 単語をプレス ▶ [削除する]
- 4 [削除する] ▶ [OK]

◆定型文登録

新しい定型文を登録できます。登録した定型文は[ユーザ作成] カテゴリに登録されます。

- 1 文字入力画面で[機能] ▶ [設定]
- 2 [よく使う定型文を登録]
- 3 [新規登録]
登録定型文を修正 : 定型文をプレス ▶ [修正する]
- 4 定型文を入力 ▶ [決定]
- 5 [OK]

■定型文の削除

- 1 文字入力画面で[機能] ▶ [設定]
- 2 [よく使う定型文を登録]
- 3 定型文をプレス ▶ [削除する]
- 4 [削除する] ▶ [OK]

◆学習消去

文字入力力で学習した内容をすべて消去します。

- 1 文字入力中に[機能] ▶ [設定]
- 2 [学習した内容をすべて消去]
- 3 [消去する] ▶ [OK]

電話をかける


相手の電話番号を入力して電話をかけます。電話帳から電話をかけることもできます。

◆電話をかける

1 ホーム画面で【電話】


ダイヤル入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力

- 訂正する場合は  を押します。
- 【メニュー】を押すと、電話帳登録、発信者番号通知／非通知の発信、国際電話の発信、声の宅配便などの操作ができます。

3 【電話をかける】

4 通話が終了したら【電話を切る】

-  ボタン ▶ 【はい】でも通話を終了できます。

◆電話帳から電話をかける

1 ホーム画面で【電話帳】▶電話帳を選択▶【電話をかける】

◆緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 登録外着信拒否が有効な状態で緊急通報を行うと、登録外着信拒否は無効に変更されます。

◆通話ごとに発信者番号を通知／非通知

電話をかけるときに自分の電話番号を相手の端末に表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 ホーム画面で【電話】

2 電話番号を入力

3 【メニュー】▶【通知で電話する】／【非通知で電話する】▶【電話をかける】

◆追加番号を入力して発信

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要がある場合、あらかじめ電話番号と追加の番号を一度に入力して発信することができます。

【*】をロングプレスすると「,」（待機）が、「#」をロングプレスすると「,」（2秒間の停止）が入力されます。

- 2秒間の停止「,」: 電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから追加番号をダイヤルします。
- 待機「,」: 電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し追加番号の確認メッセージが表示されます。【はい】を押すと追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面で【電話】

2 電話番号を入力▶待機「,」（【*】をロングプレス）／2秒間の停止「,」（【#】をロングプレス）▶追加番号を入力

3 [電話をかける]

- ・待機「:」の場合、電話がつながったら「はい」をプレスすると追加番号をダイヤルします。

✓お知らせ

- ・通話中にダイヤルパッドを表示して番号を入力する場合は、「通話中に番号を入力」をご覧ください。→ p.35

◆国際電話 (WORLD CALL)

「+」を入力して国際電話をかけます。「0」をロングプレスすると「+」が入力されます。

- ・海外利用→p.94
- ・WORLD CALLの詳細は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で[電話]

2 +([0]をロングプレス)▶[国番号-地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号]を入力

3 [電話をかける]

- ・イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- ・国リストから選択して「+国番号」を入力するには、地域番号(市外局番)と電話番号を入力し、[メニュー]▶[国際電話をかける]▶国を選択します。

電話を受ける

かかってきた電話に応答します。着信中の操作で、着信拒否、応答保留、伝言メモ録音の操作もできます。

1 電話がかかってくる

- ・着信音、振動を止めるには[着信音を消す]をプレスするか、ボタンを押します。

2 [電話に出る]

応答保留：[メニュー]▶[応答保留]

着信拒否：[メニュー]▶[拒否]

伝言メモ録音：[メニュー]▶[伝言メモ]

3 通話が終了したら[電話を切る]

通話中の操作

通話中に画面をプレスして、さまざまな操作ができます。

◆通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。



- ① 自分の電話番号
- ② はっきりボイス/びったりボイスの状態表示
- ③ はっきりボイス/あわせるボイス/ゆっくりボイスの利用状況
- ④ 名前や電話番号
- ⑤ 通話時間
- ⑥ 通話を終了
- ⑦ 通話を一時保留
- ⑧ 番号を入力するダイヤルパッドを表示
通話中に番号を入力→p.35
- ⑨ スピーカーフォンをオン
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
- ⑩ メニュー
はっきりボイス/あわせるボイス/ゆっくりボイスの設定、電話の追加*、電話帳の電話番号の検索、メールの閲覧、遠隔サポートができます。
* キャッチホンのご契約が必要です。

◆通話音量

- ・発信中/通話中以外には通話音量を調節することはできません。

1 通話中にボタン

◆通話中に番号を入力

通話中にダイヤルパッドを表示して追加する番号を入力します。

1 通話中に[ダイヤル入力]▶追加番号を入力

◆ はっきりボイス

相手の聞こえにくい声を強調して聞き取りやすくします。

- 1 通話中に[メニュー]▶[はっきりボイスをオン]／[はっきりボイスをオフ]

◆ びったりボイス

はっきりボイス動作中は、行動を認識して、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調整します。

◆ あわせるボイス

自分から設定の設定に合わせて、通話中の音声を聞き取りやすくします。通話中は補正の強弱を設定できます。

- 1 通話中に[メニュー]▶[あわせるボイスを設定]▶調節レベルを選択

◆ ゆっくりボイス

相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常で聞こえます。

- 1 通話中に[メニュー]▶[ゆっくりボイスをオン]／[ゆっくりボイスをオフ]

◆ 響カット

声の響く場所等で電話中に残響音を抑え、相手に聞き取りやすくします。

- 1 ホーム画面で[設定]▶[通話音声の設定]▶[響カット]を[オン]／[オフ]

発着信履歴

電話の発信、着信の履歴を確認できます。履歴から電話発信やメール送信などの操作をすることができます。

- 発信履歴、着信履歴の最大表示件数はそれぞれ30件です。

1 ホーム画面で[電話]

2 [履歴]



- ① 名前や電話番号
プレスすると詳細画面が表示されます。詳細画面から電話発信、メール送信、履歴からの削除ができます。
- ② 履歴アイコン
発信履歴は📞、着信履歴は📞、不在着信履歴と着信通知履歴は📞がそれぞれ表示されます。
- ③ 声の宅配便アイコン
- ④ 伝言メモアイコン／通話メモアイコン
- ⑤ 発着信履歴の全削除

伝言メモ

伝言メモの設定や録音した伝言の再生／削除を行います。

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、設定が有効になっていても伝言メモで応答しません。
- 伝言メモは1件あたり最長60秒、最大10件録音できます。

1 ホーム画面で[設定]▶[電話の設定]▶[伝言メモ]

2 [伝言メモを有効]を[オン]／[オフ]

伝言メモリスト：伝言メモリストで、伝言メモを選択して再生します。

- 伝言メモ選択後、[1件削除]をプレスすると伝言メモが削除できます。

応答時間設定：伝言メモが応答するまでの時間を設定します。

応答ガイダンス設定：応答ガイダンスを設定します。

通話メモ

通話中の会話を通話メモとして録音できます。

- 電話を切る約1分前からの通話が最大4件録音されます。4件を超えると、保護されていない古い通話メモから順に上書きされます。残しておきたい通話メモは保護してください。

1 ホーム画面で【設定】▶【電話の設定】▶【通話メモ】

2 【通話メモを有効】を【オン】／【オフ】

通話メモリスト：通話メモリストで、通話メモを選択して再生します。

- 通話メモ選択後、【保護設定】をプレスすると通話メモの保護／解除ができ、【1件削除】をプレスすると通話メモが削除できます。

ワンタッチダイヤル

よく連絡を取る相手をワンタッチダイヤルに登録しておくと、電話やメールが簡単にできます。

◆ワンタッチダイヤルに登録する

1 ホーム画面で **1** ～ **3** のいずれかをプレス

2 【新規電話帳作成して登録】▶各項目を設定▶【OK】

電話帳から登録：【電話帳から選ぶ】▶登録したい相手を選択▶各項目を設定▶【OK】

- 【メニュー】をプレスすると、登録相手の変更、電話帳の修正、ワンタッチダイヤル解除ができます。

◆ワンタッチダイヤルを使う

1 ホーム画面で **1** ～ **3** のいずれかをプレス

2 【電話をかける】／【メールを送る】

電話の設定

電話の設定から、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

1 ホーム画面で【設定】▶【電話の設定】

2 利用したいサービスを選択

伝言メモ：→p.36

通話メモ：→p.37

発信者番号通知：発信者番号の通知／非通知の設定、設定の確認を行います。

ネットワークサービス：次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。声の宅配便：サービスの利用、設定確認、変更を行います。

メロディコール：メロディコールサイトに接続します。

留守番電話サービス：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。

転送でんわサービス：サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。

キャッチホン：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

迷惑電話ストップサービス：登録、削除、登録件数の確認を行います。

番号通知お願いサービス：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

通話中着信設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

着信通知：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

英語ガイダンス：設定、設定確認を行います。

遠隔操作設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

- 公共モード（ドライブモード）を設定するには、ステータス表示エリアをプレス▶【簡単モード切替】▶【公共モード】をオンにします。

ドコモへのお問い合わせ：らくらくホンセンターやドコモ故障問合せ窓口に電話をすることがあります。

海外設定→p.97

詳細設定：通話中の番号表示、サブアドレス設定、登録外着信拒否の設定を行います。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを入力できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

- 電話帳を初めて起動すると（アプリの初期化後を含む）、クラウドの利用を開始するかどうかの確認画面が表示されます。クラウドを利用すると、電話帳データをサーバーに保管したり、パソコンで電話帳データを編集したりできます。ドコモクラウドに関する設定は、ホーム画面で[設定] ▶ [ドコモクラウド] で行います。
- SDカードバックアップアプリを使用すると、電話帳やその他のデータを一括でバックアップ/復元することができます。詳細は「ドコモバックアップ (SDカードバックアップ)」をご覧ください。→p.74
- i コンシエール契約中でも、関連する電話帳項目は表示されません。

◆電話帳

1 ホーム画面で[電話帳]



- 新規登録**
電話帳を新規登録します。
- 名前**
プレスすると詳細画面が表示されます。詳細画面から電話発信、声の宅配便、メール送信、SMS送信、登録内容の修正、赤外線送信、電話帳の削除などの操作ができます。
- インデックス**
インデックスを表示します。
- メニュー**
グループ表示、電話帳検索、お預かりセンターへの接続などができます。

◆電話帳を登録

電話帳を登録します。

- ホーム画面で[電話帳]
- [新規登録]
- 名前を入力▶[次へ]
- フリガナを入力▶[次へ]
 - 入力した名前のフリガナがあらかじめ入力されています。修正の必要がなければそのまま[次へ]をプレスします。
- 電話番号を入力▶[次へ]
- メールアドレスを入力▶[次へ]
- [この内容で登録する]▶[OK]
 - メモや住所などを登録する場合は、各項目で[追加]をプレスします。

✓お知らせ

- 各項目で[省略]をプレスすると、項目を設定せずに次の操作に進みます。
- 発信履歴から電話帳を登録する場合は、ホーム画面で[電話]▶[履歴]▶登録したい履歴を選択▶[メニュー]▶[電話帳に登録]▶[電話帳に新規登録]／[電話帳に追加登録]▶各項目を設定▶[この内容で登録する]▶[OK]をプレスします。

◆登録する電話帳のアカウント設定

- お買い上げ時には、docomoアカウントに設定されています。

- ホーム画面で[電話帳]
- [メニュー]▶[その他]▶[登録場所の設定]
- アカウントを選択▶[OK]

✓お知らせ

- クラウドと同期できるのは、docomoアカウントで登録した電話帳データです。なお、FUJITSUアカウントに変更すると、ドコモサービスで使用しているデータが欠損してしまう場合があります。

◆電話帳の編集

登録済みの電話帳の内容を修正します。

- 1 電話帳リストで修正したい電話帳を選択▶
[修正する]
- 2 各項目を設定
 - 名前や電話番号などを編集できます。
- 3 [この内容で登録する]▶[OK]

◆電話帳の削除

登録済みの電話帳を削除します。

- 1 電話帳リストで削除したい電話帳を選択
- 2 [メニュー]▶[削除する]▶[削除する]▶
[OK]

◆電話帳を検索

電話帳を検索します。

- 1 電話帳リストで[メニュー]▶[検索する]
- 2 検索したいキーワードを入力▶[検索する]

◆電話帳をグループごとに表示

電話帳を登録したグループごとに表示できます。

- 1 電話帳リストで[メニュー]▶[グループ表示する]▶表示したいグループを選択

◇グループの新規作成

電話帳を登録するグループを作成できます。

- 1 電話帳リストで[メニュー]▶[グループ表示する]
- 2 [メニュー]▶[グループを編集する]▶[グループを追加]
- 3 [一覧から選ぶ]▶一覧からグループを選択▶
[この内容で登録する]▶[OK]
入力して追加：[直接入力する]▶グループ名
を入力▶[この内容で登録する]▶[OK]

✓お知らせ

- グループ登録はdocomoアカウントとGoogleアカウントのみ設定できます。

自分の電話番号

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力、編集したりできます。

- 1 ホーム画面で[自分の電話番号]
 - [修正する]をプレスすると、名前や電話番号などのマイプロフィールを修正できます。なお、メールアドレスは1件目のみ自動取得ができ、入力済みのメールアドレスがある場合は上書きされます。
 - [赤外線でデータを送る]をプレスすると、赤外線送信ができます。

メール／インターネット

メール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信をします。

絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- メールをご利用いただくには、spモードの契約が必要です。
- メールの初回起動時は「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。メールをご利用いただくには、「ソフトウェア使用許諾契約書」をご確認の上、同意いただく必要があります。同意後、マイアドレスが自動で登録されます。

◆メールの作成・送信

- 1 ホーム画面で[メール]**
メールのメニュー画面が表示されます。
- 2 [メール作成]**
メール作成画面が表示されます。
 - メール作成画面で [メニュー] をプレスすると、署名や例文、テンプレートの挿入、保存／破棄の操作ができます。
- 3 宛先の[ここを押して入力] ▶ 宛先を入力**
 - 宛先を [電話帳から選ぶ] / [最近送信した人から選ぶ] / [最近受信した人から選ぶ] / [直接入力する] から選択し、画面の指示に従って操作してください。
 - 宛先の入力後に、宛先を追加するには [追加]、変更や削除をするには入力済みの宛先をプレスします。
- 4 件名の[ここを押して入力] ▶ 件名を入力▶ [入力を完了する]**
- 5 添付の[ここを押して選択] ▶ ファイルを選択**
 - ファイルを添付するには、[写真] / [写真(携帯電話向けに縮小)] / [その他のファイル(SD)] のいずれかを選択し、画面の指示に従って操作してください。

6 本文の[ここを押して入力] ▶ 本文を入力▶ [入力を完了する]

- 本文入力画面で [メニュー] をプレスすると次の操作ができます。
[デコメを挿入する]：デコメ絵文字®を選択して本文に挿入できます。
[かんたんデコメを使う]：お買い上げ時に保存されている画像などを利用して、入力した本文を簡単に装飾します。
[装飾を使う]：本文の装飾操作ができます。
[テキスト操作]：署名やテンプレート、例文、位置情報などを挿入できます。
[直前の動作を取り消す]：直前の操作を取り消します。
[直前の動作をやり直す]：「直前の動作を取り消す」で行った操作を再度取り消す前の状態に戻します。
- 本文を入力するエリアをロングプレスしてもテキスト操作が行えます。

7 [メールを送信する] ▶ [送信する] ▶ [閉じる]

送信が完了すると、送信メールのフォルダに保存されます。

◆テンプレート

保存されているテンプレートを利用して簡単にデコメール®を作成できます。

- 1 ホーム画面で[メール]**
- 2 [テンプレート] ▶ テンプレートを選択**
 - テンプレート一覧を左右にフリックして画像を選択します。
- 3 拡大表示された画像をプレス ▶ [決定]**
テンプレートが挿入されたメール作成画面が表示されます。→p.40

◆メールを受信したときは

メールサーバーにメールが届くと、自動的に本端末に送られてきます。

メールを受信すると、お知らせランプが点滅し、着信音が鳴ります。ステータスアイコンが表示され、画面に新着通知が表示されます。

新着通知をプレスして新着メールを確認します。

✓お知らせ

- メール受信時の動作は変更することができます。→ p.42
- 本端末のメールメモリ容量が少なくなると、メールを受信できません。不要な未読メールや保護メールを削除するなどして、メールメモリの空き容量を増やしてください。

◆新着問合せ

1 ホーム画面で[メール]

2 [新着問合せ]

問合せが開始されます。メールがあると受信メールのフォルダに保存されます。

◆受信／送信／未送信メールの表示

1 ホーム画面で[メール]

2 [受信メール]／[送信メール]／[未送信メール]

受信／送信メールのフォルダー一覧／未送信メール一覧が表示されます。

・[未送信メール]をプレスした場合は、操作4に進みます。

3 受信／送信メールのフォルダを選択

受信／送信メール一覧が表示されます。

4 メールを選択

受信／送信／未送信メールの詳細画面が表示されます。

◆メールの操作

受信／送信／未送信メールを操作します。

・フォルダやメールによって、操作できる項目は異なります。

◆受信／送信フォルダの操作

1 フォルダー一覧表示中に[メニュー]

2 各項目を設定

フォルダを追加する：フォルダを追加します。

フォルダを削除する：フォルダを削除します。

フォルダ名を変更する：フォルダ名を変更します。

フォルダを並び替える：フォルダを2つ以上作成した場合に、作成したフォルダを並び替えます。

メールを振り分ける：フォルダに振り分け条件を設定して、振り分けを実行するかどうかを設定します。

保存件数を表示する：フォルダに保存されているメール／メッセージRの件数を表示します。

◆受信／送信／未送信メール一覧の操作

1 メール一覧表示中に[メニュー]

2 各項目を設定

並び順を変更する：並び順を変更します。

保護／保護解除：メールを保護／保護解除します。

未読／既読変更：受信メールの既読／未読を変更します。

削除する：メールを選択して削除します。

フォルダを移動する：受信／送信メールをフォルダ移動します。

その他：条件を指定してメールを検索、microSDカードへコピー、メールアドレスの電話帳登録、赤外線でメールを送信します。

◆受信／送信／未送信メール詳細画面の操作

1 メール詳細画面表示中に[メニュー]

2 各項目を設定

転送する：受信メールを転送します。→p.42

再編集する：送信メールを再編集します。

削除する：表示中のメールを削除します。

フォルダを移動する：受信／送信メールのフォルダを移動します。

電話帳に登録する：メールアドレスを電話帳に登録します。

本文コピー：本文をコピーします。

その他：表示中のメールをmicroSDカードへコピーしたり、保護／保護解除したり、デコメール®の画像を操作したり、受信メールをレイアウト補正せずに表示したりします。

◆添付ファイルの操作

メールに添付されているファイルを表示・保存します。

1 メール詳細画面表示中に添付されているファイルをプレス

2 [表示する]／[SDカードに保存]

表示する：添付ファイルを表示します。

・添付ファイルによっては、[再生する]や[実行する]を選択できます。

SDカードに保存：microSDカードに添付ファイルを保存します。

・添付ファイルが画像の場合は自動的に表示され、[SDカードに保存]を選択できます。

◆メールに返信

- 1 ホーム画面で [メール]
- 2 [受信メール] ▶ フォルダを選択 ▶ メールを選択
- 3 [返信する]
メール作成画面が表示されます。→p.40

✓お知らせ

- 複数の宛先に送られた受信メールに返信するときは、返信先の選択画面が表示されます。

◆メールを転送

- 1 ホーム画面で [メール]
- 2 [受信メール] ▶ フォルダを選択 ▶ メールを選択
- 3 [メニュー] ▶ [転送する]
メール作成画面が表示されます。→p.40

◆送受信履歴

- 1 ホーム画面で [メール]
- 2 [送受信履歴] ▶ [受信した人] / [送信した人]
履歴の一覧が表示されます。
 - [受信履歴を削除する] / [送信履歴を削除する] をプレスすると、履歴をすべて削除できます。
 - 履歴を選択すると、メールの作成、電話帳に登録・追加、履歴の削除の操作ができます。

◆メールの設定

メールに関するさまざまな設定を行います。

◇受信設定

- 1 ホーム画面で [メール] ▶ [設定] ▶ [受信]
- 2 各項目を設定

■メール

着信音：受信時の着信音を選択します。

着信音鳴動時間：受信時の着信音の鳴動時間を0～30秒の間で設定します。

振動：受信時の振動パターンを選択します。

振動時間：受信時の振動時間を0～30秒の間で設定します。

着信ランプ：受信時にお知らせランプを点灯するかどうかを設定します。

着信ランプ色：受信時のお知らせランプの色を選択します。

■メッセージR

着信音：受信時の着信音を選択します。

着信音鳴動時間：受信時の着信音の鳴動時間を0～30秒の間で設定します。

振動：受信時の振動パターンを選択します。

振動時間：受信時の振動時間を0～30秒の間で設定します。

着信ランプ：受信時にお知らせランプを点灯するかどうかを設定します。

着信ランプ色：受信時のお知らせランプの色を選択します。

■共通設定

メール自動受信：新着メールを自動で受信するかどうかを設定します。

■海外設定

海外メール自動受信：海外ローミング中にメールを自動受信するかどうかを設定します。

海外通信時確認ダイアログ：海外ローミング中にメールが受信されるときに、受信確認画面を表示するかどうかを設定します。

◇表示設定

- 1 ホーム画面で [メール] ▶ [設定] ▶ [表示]
- 2 各項目を設定
表示切替：メニューの表示形式を設定します。
本文文字サイズ変更：本文の文字サイズを選択します。
電話帳登録名表示：電話帳に登録されている名前を表示するかどうかを設定します。

◇署名設定

- 1 ホーム画面で [メール] ▶ [設定] ▶ [署名]
- 2 各項目を設定
自動署名設定：メールに署名を自動で挿入するかどうかを設定します。
署名を編集する：署名を編集します。

◇例文編集

お買い上げ時に登録されている例文の件名と本文を編集します。

- 1 ホーム画面で [メール] ▶ [設定] ▶ [例文]
- 2 例文を選択 ▶ 編集 ▶ [決定]

◆その他設定

1 ホーム画面で[メール] ▶ [設定] ▶ [その他]

2 各項目を設定

引用符編集：メールを返信する際、引用する本文の先頭に付ける引用符を編集します。

引用返信設定：メールを返信する際、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。

らくらく返信設定：メールを返信する際、らくらく返信を利用するかどうかを設定します。

返信メール編集：らくらく返信の返信文を編集します。

送信文字コード：送信文字コードを設定します。

メール全般の設定：ドコモサイトに接続して、メールアドレス変更などのメールの設定をします。

マイアドレス：マイアドレス情報を更新したり、メールアドレスをコピーしたりできます。

利用者使用許諾日時：本機能を使用開始した日時が表示されています。

かんたんWi-Fi設定：Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用するための設定を行います。

Wi-Fiメール利用設定：spモードセンターに接続して、Wi-Fiメール利用について設定します。

パスワード設定：Wi-Fiオプションパスワードを設定します。

Wi-Fiメール接続確認：spモードセンターに接続してWi-Fiオプションパスワードの確認をします。

アプリケーション名：メールアプリ名が表示されています。

提供者：メールアプリの提供者が表示されています。

バージョン：メールアプリのバージョンが表示されています。

本アプリのライセンスについて：メールアプリのライセンスについて表示します。

Copyright：メールアプリのコピーライトが表示されています。

◆メッセージサービス

メッセージサービスを提供するWebサイトに申し込むと、欲しい情報（メッセージR）が自動的に受信できます。

◆受信したメッセージRの表示

1 ホーム画面で[メール]

2 [受信メール] ▶ [メッセージR] ▶ メッセージRを選択

- メッセージRを転送したり、返信したりできません。一部の操作を除き、主な操作方法はメールと同様です。

パソコンメール

Gmail、Yahoo!メール、Hotmailなどのアカウントをお持ちの場合は、本端末でメールの送受信ができます。

- ここでは、Gmailのメールアカウント（Googleアカウント）での操作方法を説明しています。

◆パソコンメールにアカウント設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

- 最大3件登録できます。

1 ホーム画面で[便利ツール]を開く ▶ [パソコンメール]

2 [新規アカウント]

メールアドレスの入力画面が表示されます。

3 [ここを押して入力] ▶ メールアドレスを入力 ▶ [入力画面を閉じる] ▶ [次へ]

パスワードの入力画面が表示されます。

4 [ここを押して入力] ▶ パスワードを入力 ▶ [入力画面を閉じる] ▶ [次へ(自動設定)]

アイコンの選択画面が表示されます。

5 アイコンを選択 ▶ [完了]

登録内容が表示されます。

6 [この内容で登録する]

新着メールを確認するかの確認画面が表示されます。

7 [確認する] / [戻る]

メールのメニュー画面が表示されます。

- [確認する] をプレスした場合は、問合せの確認結果を確認して [閉じる] をプレスします。

✓お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作4で[次へ(手動設定)]をプレスしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B (OutboundPort 25 Blocking) : 迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。
- アカウントをお持ちでない場合は、操作2で[端末に設定しているアカウント] ▶ [登録する]をプレスして、Gmailのメールアカウント (Googleアカウント) を作成して利用することができます。アカウントの作成について、詳しくは「アカウントの追加」(→p.91)をご覧ください。

■メールアカウントの追加

すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、次の操作を行います。

1 メールメニュー画面で[メニュー] ▶ [アカウント一覧を表示・管理]

アカウント一覧が表示されます。

2 [メニュー] ▶ [アカウントを追加する]

- 以降の操作方法については、「パソコンメールにアカウント設定」の操作2以降をご覧ください。

✓お知らせ

- 設定したアカウントを確認したり、編集したりする場合は、操作2で[メニュー] ▶ [アカウントを見る・変更する] ▶ アカウントを選択します。
- 設定したアカウントを削除するには、操作2で[メニュー] ▶ [アカウントを削除する] ▶ アカウントを選択 ▶ [削除する] ▶ [閉じる]をプレスします。
- 他の端末からmicroSDカードにコピーしたメールを本端末に取り込むには、メールのメニュー画面で[メニュー] ▶ [SDから取り込む]をプレスし、画面の案内に従って操作してください。

◆パソコンメールの作成・送信

1 ホーム画面で[便利ツール]を開く ▶ [パソコンメール]

メールのメニュー画面が表示されます。

- メールアカウントを2つ以上設定している場合は、アカウント一覧画面が表示されます。アカウントを選択すると、メールのメニュー画面が表示されます。

2 [メール作成]

メール作成画面が表示されます。

- メール作成画面で[メニュー]をプレスすると、署名や例文、保存の操作ができます。

3 宛先の[ここを押して入力] ▶ 宛先を入力

- 宛先を[電話帳から選ぶ] / [最近送信した人から選ぶ] / [最近受信した人から選ぶ] / [直接入力する]から選択し、画面の指示に従って操作してください。
- 宛先の入力後に、宛先を追加するには[追加]、変更や削除をするには入力済みの宛先をプレスします。

4 件名の[ここを押して入力] ▶ 件名を入力 ▶ 入力を完了する

5 添付の[ここを押して入力] ▶ ファイルを選択

- ファイルを添付するには、[写真] / [写真(携帯電話向けに縮小)] / [その他のファイル(SD)]のいずれかを選択し、画面の指示に従って操作してください。

6 本文の[ここを押して入力] ▶ 本文を入力 ▶ 入力を完了する

- 本文入力画面で[メニュー]をプレスすると、文字サイズや文字色の変更などができます。
- 本文が入力されるエリアをロングプレスすると、署名や例文などを挿入できます。

7 [メールを送信する] ▶ [送信する] ▶ [閉じる]

送信が完了すると、送信メールのフォルダに保存されます。

◆ パソコンメールを受信したときは

パソコンメールを受信すると、お知らせランプが点滅し、着信音が鳴ります。ステータスアイコンが表示され、画面に新着通知が表示されます。新着通知をプレスして新着メールを確認します。

✓お知らせ

- パソコンメール受信時の動作は変更することができません。→p.46

◆ 新着問合せ

1 ホーム画面で[便利ツール]を開く▶[パソコンメール]

2 [新着問合せ]▶[閉じる]

パソコンメールがあると受信メールのフォルダに保存されます。

◆ パソコンメールの表示

1 ホーム画面で[便利ツール]を開く▶[パソコンメール]

2 [受信メール]／[送信メール]／[未送信メール]

受信／送信／未送信メール一覧が表示されます。

3 メールを選択

受信／送信／未送信メール詳細画面が表示されます。

◆ パソコンメールの操作

受信／送信／未送信メールを操作します。

- メールによって操作できる項目は異なります。

※ パソコンメール一覧の操作

1 パソコンメール一覧表示中に[メニュー]

2 各項目を設定

新着メールを問合せる：新着メールの問合せを開始します。

過去メールを問合せる：取得済みメール以前の未取得メールの問合せを開始します。

並び順を変更する：並び順を変更します。

既読／未読変更：受信メールの既読／未読を変更します。

削除する：メールを選択して削除します。

検索する：条件を指定してメールを検索します。

電話帳に登録する：メールアドレスを電話帳に登録します。

SDカードへコピー：microSDカードにコピーします。

※ パソコンメール詳細画面の操作

1 パソコンメール詳細画面表示中に[メニュー]

2 各項目を設定

転送する：受信メールを転送します。→p.46

再編集する：送信メールを再編集します。

削除する：表示中のメールを削除します。

電話帳に登録する：メールアドレスを電話帳に登録します。

本文コピー：本文をコピーします。

SDカードへコピー：microSDカードにコピーします。

※ 添付ファイルの操作

メールに添付されているファイルを表示・保存します。

1 パソコンメール詳細画面表示中に添付の[添付ファイル一覧]

2 ファイルを選択

3 [表示する]／[SDカードに保存]

表示する：添付ファイルを表示します。

• 添付ファイルによっては、[再生する]や[実行する]を選択できます。

SDカードに保存：microSDカードに添付ファイルを保存します。

• 添付ファイルが画像の場合は自動的に表示され、[SDカードに保存]を選択できます。

◆ パソコンメールに返信

1 ホーム画面で[便利ツール]を開く▶[パソコンメール]

2 [受信メール]

受信メール一覧が表示されます。

3 メールを選択

受信メール詳細画面が表示されます。

4 [返信する]

メール作成画面が表示されます。→p.44

✓お知らせ

- アカウントによっては、操作2で[受信メール]をプレスした後に、フォルダを選択する場合があります。

◆ パソコンメールを転送

- 1 ホーム画面で[便利ツール]を開く▶[パソコンメール]
- 2 [受信メール]▶メールを選択
- 3 [メニュー]▶[転送する]
メール作成画面が表示されます。→p.44

◆ 送受信履歴

- 1 ホーム画面で[便利ツール]を開く▶[パソコンメール]
- 2 [送受信履歴]▶[受信した人]/[送信した人]
履歴の一覧が表示されます。
 - [受信履歴を削除する]/[送信履歴を削除する]をプレスすると、履歴をすべて削除できます。
 - 履歴を選択すると、パソコンメールの作成、電話帳に登録・追加、履歴の削除の操作ができます。

◆ パソコンメールの設定

パソコンメールに関するさまざまな設定を行います。

※アカウント共通の設定

- 1 ホーム画面で[便利ツール]を開く▶[パソコンメール]
- 2 [設定]▶[アカウント共通の設定]
- 3 各項目を設定

■受信

海外メール自動受信：海外ローミング中にメールを自動受信するかどうかを設定します。

海外通信時確認ダイアログ：海外ローミング中にメールが受信されるときに、受信確認画面を表示するかどうかを設定します。

■表示

本文文字サイズ変更：本文の文字サイズを選択します。

電話帳登録名表示：電話帳に登録されている名前を表示するかどうかを設定します。

■例文

例文を選択して編集します。

■その他

引用符編集：メールを返信する際、引用する本文の先頭に付ける引用符を編集します。

引用返信設定：メールを返信する際、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。

らくらく返信設定：メールを返信する際、らくらく返信を利用するかどうかを設定します。

返信メール編集：らくらく返信の返信文を編集します。

※アカウント個別の設定

- 1 ホーム画面で[便利ツール]を開く▶[パソコンメール]
- 2 [設定]▶[このアカウント設定]
- 3 各項目を設定

■受信

着信音：受信時の着信音を選択します。

着信音鳴動時間：受信時の着信音の鳴動時間を0～30秒の間で設定します。

振動：受信時の振動パターンを選択します。

振動時間：受信時の振動時間を0～30秒の間で設定します。

着信ランプ：受信時にお知らせランプを点灯するかどうかを設定します。

着信ランプ色：受信時のお知らせランプの色を選択します。

受信間隔：受信間隔を選択します。

■署名

自動署名設定：メールに署名を自動で挿入するかどうかを設定します。

署名を編集する：署名を編集します。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、最大全角70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）の文字メッセージを送受信します。

◆SMSを作成・送信

- 1 ホーム画面で[メール] ▶ [SMS]
- 2 [新しくメッセージを送る]
宛先の指定方法の選択画面が表示されます。
- 3 [電話番号を入力]
電話番号入力画面が表示されます。
 - [電話帳から選ぶ] をプレスした場合は、送信する相手を選択し、操作5に進みます。
- 4 電話番号を入力 ▶ [メッセージを書く]
メッセージの入力画面が表示されます。
- 5 メッセージを入力 ▶ [完了]
入力が完了した送信画面が表示されます。
- 6 [送信する]
 - [宛先を編集] をプレスすると、宛先の追加／削除の操作ができます。

✓お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様の間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

◆SMSを受信したときは

SMSを受信すると、お知らせランプが点滅し、着信音が鳴ります。ステータスアイコンが表示され、画面に新着通知が表示されます。
新着通知をプレスして新着SMSを確認します。

✓お知らせ

- SMS受信時の動作は変更することができます。→ p.48
- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、新着SMS通知の設定に関わらず着信音が鳴らなかったり、振動しなかったりする場合があります。
- 本端末のメモリ容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリを削除するなどして、メモリ空き容量を増やしてください。→p.90

◆送受信したSMSの表示

- 1 ホーム画面で[メール] ▶ [SMS]
- 2 相手を選択
 - SMS表示中に [メッセージをクリア] をプレスすると、表示中のSMS一覧を削除できます。
 - SMS表示中に [メニュー] をプレスすると、電話発信や電話帳登録、SMS削除の操作ができます。

◆SMSに返信

- 1 ホーム画面で[メール] ▶ [SMS]
- 2 相手を選択
- 3 [メッセージを書く]
メッセージの入力画面が表示されます。
- 4 メッセージを入力 ▶ [完了]
入力が完了した送信画面が表示されます。
- 5 [送信する]

◆ドコモminiUIMカード内のSMSの操作

他の端末でドコモminiUIMカードに保存したSMSを操作します。

- 本端末のSMSをドコモminiUIMカードにコピーすることはできません。

〈例〉本体にコピーする

- 1 ホーム画面で[メール] ▶ [SMS]
- 2 [メニュー] ▶ [SIMカードのSMSを見る] ▶ SMSを選択
- 3 [本体にコピーする]
削除する：[削除する] ▶ [削除する]

◆SMSの設定

- 1 ホーム画面で[メール] ▶ [SMS]
- 2 [メニュー] ▶ [SMSを設定する]
- 3 各項目を設定
着信音：メッセージが届いたときの着信音を設定します。
受信時の振動：メッセージが届いたときに振動させるかどうかを設定します。
着信ランプ：メッセージが届いたときにお知らせランプを点灯させるかどうかを設定します。
通知時間：メッセージが届いたときの通知時間を1～60秒の間で設定します。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

◆緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→p.48

◆受信したエリアメールの表示

- 1 ホーム画面で[あんしんツール]を開く ▶ [災害用キット]
• 初回起動時は「ご利用にあたって」を読み、[同意して利用する]をプレスします。
- 2 [緊急速報「エリアメール」] ▶ エリアメールを選択

◆エリアメールの削除

- 1 ホーム画面で[あんしんツール]を開く ▶ [災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」] ▶ エリアメールをチェック ▶ [削除] / [すべて選択]
- 3 [削除する]

◆緊急速報「エリアメール」設定

- 1 ホーム画面で[あんしんツール]を開く ▶ [災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」] ▶ [メニュー]
- 3 各項目を設定
エリアメール受信設定：エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音：着信音の鳴動時間とマナーモード時の着信音の動作を設定します。
受信画面と着信音の確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの受信画面と着信音を確認します。
受信登録：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外に受信するエリアメールを新規登録／編集／削除します。
アプリ情報：アプリ情報を表示します。

インターネット

パソコンと同じようにインターネットのWebサイトをご覧になれます。パケット通信またはWi-Fi機能を利用して、ブラウザ（Webサイトを閲覧するためのアプリ）でインターネットに接続します。

- 表示するWebサイトによっては次のように、らくらくタッチの設定（→p.82）に従って動作しない場合があります。
 - らくらくタッチの設定を有効に設定していても、プレスの動作にならない
 - らくらくタッチの設定を有効に設定していても、プレス時に振動しない
 - アイコンやメニューなどをプレスしても、色や枠が変化しない
 - アイコンやメニューなどをプレスしたとき、色や枠に変化はないが、振動する

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え
本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小





次の方法で拡大／縮小します。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

2回タッチ：拡大します。

- 拡大前の表示に戻す場合は、再度2回タッチします。



ズームコントロール：画面をフリックして

  を表示します。 をプレスして拡大し、 をプレスして縮小します。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→p.23）して見たい部分を表示します。

■ Webページを戻す／進める

表示したWebページを画面上部の （前のページ）で戻り、（次のページ）で進みます。

◆ インターネットを起動してWebサイトを表示

❖ キーワードからWebサイトを表示

1 ホーム画面で[インターネット]

ホームページに設定されているWebサイトが表示されます。→p.51

2 検索

dメニューの検索サイトが表示されます。

- ブラウザの詳細設定の検索サービスを [dメニュー] 以外に設定している場合は、キーワード入力画面が表示されます。

3 検索ボックスをプレス▶キーワードを入力▶[実行]

検索結果が表示されます。

- 検索ボックス右側の  をプレスすると、音声でキーワードを入力できます。

❖ URLを入力してWebサイトを表示

1 ホーム画面で[インターネット]▶[メニュー]▶[その他の操作を行う]▶[URLを入力して接続]

2 URLを入力▶[接続]

URLを入力したWebサイトが表示されます。

❖ 履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に[メニュー]▶[その他の操作を行う]▶[閲覧履歴を見る]

2 閲覧履歴を選択▶[接続する]

- 閲覧履歴一覧で [メニュー] をプレスすると、閲覧履歴の削除、URLの表示やコピーなどの操作ができます。

✓お知らせ

- ページの情報が正常に受信できなかった場合に、Webサイト表示中に [メニュー] ▶ [再読み込みする] をプレスすると、再読み込みを行います。

◆ブックマークを登録して簡単にWebサイトにアクセス

ブックマークとは、後から再度表示したいWebサイトをブラウザに登録しておく機能です。

- ブックマークの最大保存件数は100件です。

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に[メニュー]▶[ブックマークに登録]

- すでに同じブックマークがある場合は、登録するかどうかの確認画面が表示されます。

2 [OK]

✓お知らせ

- 登録したブックマークを削除するには、Webサイト表示中に [メニュー] ▶ [ブックマーク一覧] ▶ [メニュー] ▶ [削除する] ▶ ブックマークを選択 ▶ [削除する] ▶ [削除する] ▶ [OK] をプレスします。

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に[メニュー]▶[ブックマーク一覧]

2 ブックマークを選択

❖ブックマークをホーム画面に貼付

ブックマークをホーム画面に貼り付けておくと、ホーム画面から簡単にWebサイトを表示できます。

1 Webサイト表示中に[メニュー]▶[ブックマーク一覧]

2 [メニュー]▶[ホーム画面に貼る]▶ブックマークを選択▶[ホーム画面に貼る]

カテゴリ別アプリ (→p.25) の一番上に「よく使うブックマーク」カテゴリが追加されてブックマークが貼り付けられます。

✓お知らせ

- ブックマークの貼り付けを解除するには、ホーム画面で [設定] ▶ [画面の設定] ▶ [ホーム画面の設定] ▶ [ブックマークの貼付け解除] ▶ ブックマークを選択 ▶ [貼付けを解除する] ▶ [解除する] ▶ [OK] をプレスします。ブックマークの貼り付けを解除しても、ブックマークは削除されません。
- ブックマークの貼り付けがすべて解除されると、ホーム画面の「よく使うブックマーク」カテゴリは消去されます。
- ブックマークを削除しても、ホーム画面に貼り付けられたブックマークは消去されません。
- 操作2で [メニュー] をプレスすると、フォルダを作成してブックマークを分類するなどの操作ができます。

◆画面メモを保存して表示

表示中のWebサイトの内容を画面メモとして保存して、後で表示します。

❖画面メモの保存

1 Webサイト表示中に[メニュー]▶[画面メモ]▶[画面メモを保存]▶[保存する]▶[OK]

❖画面メモの表示

1 Webサイト表示中に[メニュー]▶[画面メモ]▶[画面メモを見る]▶画面メモを選択

- 画面メモ表示中に [メニュー] をプレスすると、画面メモの削除や、保護/保護解除の操作ができます。

◆Webサイトのリンクを操作

Webサイトに表示されているリンクを操作します。

URLの場合

- プレスしてWebサイトを開きます。
- ロングプレスしてURLをコピー、またはテキストを選択してコピーします。

電子メールアドレスの場合

- プレスしてメールを作成します。
- ロングプレスしてメールを作成、またはテキストを選択してメールアドレスをコピーします。

電話番号の場合

- プレスして電話番号に発信します。
- ロングプレスして電話番号を電話帳に登録、またはテキストを選択してコピーします。

ファイルの場合

- プレスしてファイルをダウンロードして保存します。

✓お知らせ

- 保存したファイルは、Webサイト表示中に [メニュー] ▶ [その他の操作を行う] ▶ [ダウンロード履歴] で確認できます。

◆ Webサイトに表示されている画像を保存

1 Webサイト表示中に画像を選択(ロングプレス) ▶ [画像を保存する] / [保存する]

2 [OK]

保存された画像が表示されます。

✓お知らせ

- 保存した画像は、アルバム (→p.68) または、Webサイト表示中に [メニュー] ▶ [その他の操作を行う] ▶ [ダウンロード履歴] で確認できます。なお、画像によっては、アルバムに保存されないものもあります。

◆ ブラウザの設定

ブラウザに関するさまざまな設定を行います。

※ Webサイトの文字の大きさ

1 Webサイト表示中に [メニュー] ▶ [その他の操作を行う] ▶ [ブラウザを設定する]

2 [文字の大きさ] ▶ 大きさを選択 ▶ [OK]

✓お知らせ

- 文字の大きさを [大] に設定すると、Webサイトによっては正しく表示されない場合があります。

※ ホームページの設定

- お買い上げ時は、ホームページ (最初に表示されるページ) にdメニューが設定されています。

1 Webサイト表示中に [メニュー] ▶ [その他の操作を行う] ▶ [ブラウザを設定する]

2 [ホームページの設定]

3 各項目を設定

直接入力: ホームページに設定するWebサイトのURLを入力します。

現在のページを使用: 現在表示しているWebサイトをホームページに設定します。

初期状態に戻す: お買い上げ時に設定されているホームページの設定に戻します。

✓お知らせ

- ホームページを表示するには、Webサイト表示中に [メニュー] ▶ [ホームに戻る] をプレスします。

※ ブラウザの詳細設定

1 Webサイト表示中に [メニュー] ▶ [その他の操作を行う] ▶ [ブラウザを設定する] ▶ [詳細設定]

2 各項目を設定

ファイル保存先: Webサイトからダウンロードしたファイルや画像の保存先を設定します。

画像表示: 画像を表示するかを設定します。

拡大縮小の上書き: 拡張禁止の指定があるページに対して、拡張を可能にするかを設定します。

拡大縮小の引継ぎ: 現在表示しているWebページの拡張率を、次にWebページを開いたときに引継ぐかを設定します。

- URLを入力してWebサイトを表示したり、ブックマークや履歴からWebサイトを表示したりしたときには引き継がれません。

フォームデータ保存: Webサイトのフォームに入力した情報を保存して、使用するかを設定します。

パスワード保存: Webページのパスワードをブラウザに保存して、使用するかを設定します。

Cookie: Cookieを端末に保存して、Webページで使用するかを設定します。

JavaScript: WebページでJavaScriptを使用するかを設定します。

位置情報: Webサイトに位置情報のアクセスを許可するかを設定します。

検索サービス: 利用する検索サービスを設定します。

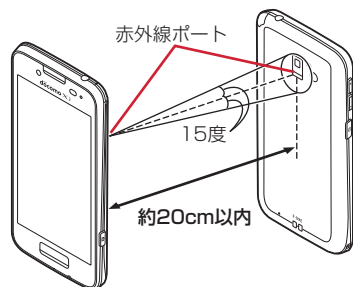
文字コード: 文字コードを選択します。

設定を初期状態に戻す: ブラウザの設定を初期状態に戻します。

赤外線通信

赤外線通信機能が搭載された他の端末や携帯電話などとデータを送受信します。

- 赤外線通信できるデータは次のとおりです。
 - マイプロフィール：1件送信/受信
 - 電話帳：1件送信/受信、全件送信/受信
 - メール：1件送信/受信、全件送信/受信
 - スケジュール&メモ：1件送信/受信、全件送信/受信
 - トルカ：1件受信
 - 静止画：1件送信/受信、全件受信
 - 動画：1件送信/受信
- 赤外線の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、本端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手の端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。



✓お知らせ

- 赤外線受信した電話帳、スケジュール、メモのデータは、項目によっては本端末で表示できない場合があります。
- 赤外線受信した電話帳、スケジュール、メモのデータを他の端末に赤外線送信すると、本端末で表示できないデータでも、他の端末では復元して表示できる場合があります。
- 本端末への機種変更時に、他の端末から赤外線受信したスケジュールやメモなどを他の端末に赤外線送信すると、スケジュールやメモが重複する場合があります。

◆赤外線送信

◆赤外線通信でマイプロフィールを送信

- 1 ホーム画面で[自分の電話番号]
- 2 [赤外線でデータを送る]
- 3 受信側を受信待ち状態にする ▶ [開始] ▶ [OK]

◆赤外線1件送信

〈例〉電話帳を1件送信する

- 1 ホーム画面で[電話帳]
- 2 電話帳を選択
- 3 [メニュー] ▶ [赤外線でデータを送る]
- 4 受信側を受信待ち状態にする ▶ [開始] ▶ [OK]

◆赤外線全件送信

- あらかじめドコモアプリパスワードの設定が必要です。→p.91
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。数字4桁の認証パスワードを決めてから操作してください。

〈例〉電話帳を全件送信する

- 1 ホーム画面で[便利ツール]を開く ▶ [赤外線]
- 2 [赤外線で全件送信する] ▶ [電話帳] ▶ [送信する]
- 3 ドコモアプリパスワードを入力 ▶ [OK] ▶ 認証パスワードを入力 ▶ [完了]
 - 認証パスワード入力画面で [パスワードを表示する] をプレスしてチェックを付けると、パスワードを確認できます。
- 4 受信側を受信待ち状態にする ▶ [開始]
- 5 [OK]

◆ 赤外線受信

❖ 赤外線 1 件受信

- 1 ホーム画面で【便利ツール】を開く ▶ 【赤外線】
- 2 【赤外線で 1 件受信する】
- 3 【開始】▶ 相手側からデータを 1 件送信
- 4 【OK】▶ 【保存する】▶ 【OK】

❖ 赤外線全件受信

- あらかじめドコモアプリパスワードの設定が必要です。→p.91
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。数字4桁の認証パスワードを決めてから操作してください。

- 1 ホーム画面で【便利ツール】を開く ▶ 【赤外線】
- 2 【赤外線で全件受信する】
- 3 ドコモアプリパスワードを入力 ▶ 【OK】▶ 認証パスワードを入力 ▶ 【完了】
 - 認証パスワード入力画面で【パスワードを表示する】をプレスしてチェックを付けると、パスワードを確認できます。
- 4 【開始】▶ 相手側からデータを全件送信
- 5 【OK】▶ 【保存する】▶ 【OK】

Bluetooth® 通信

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✓お知らせ

- 対応バージョン、プロフィールなどについては「主な仕様」をご覧ください。→p.106
- テレビの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できません。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖ Bluetooth機能取り扱い上のご注意


- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖ 無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能オン／オフ


Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をオンに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためオフに設定してください。

- オンのときはステータスバーに（Bluetooth機能オン）が表示されます。
- Bluetooth機能オン／オフの設定は、電源を切っても変更されません。

- 1 ホーム画面で【設定】▶ 【通信の設定】▶ 【Bluetooth】を【オン】／【オフ】

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器からデータを受信したりすることができます。

- Bluetooth機器をあらかじめ接続できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーに (Bluetooth機器接続中) が表示されます。

1 ホーム画面で [設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Bluetooth設定]

- 接続するBluetooth機器が表示されないときは、[デバイスの検索] をプレスします。

2 検出されたBluetooth機器をプレス ▶ 必要に応じてパスコード(パスキー、PIN)を入力して [OK] または [ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード (パスキー、PIN) を入力して [OK] をプレスするか、[ペア設定する] をプレスしてください。

✓お知らせ

- DUN (ダイヤルアップネットワークングプロファイル) で接続時は、通信料が高額になる場合がある旨のメッセージが表示されます。
- 接続するBluetooth機器に表示されない場合は、[他のBluetoothデバイスには非表示] / [ペア設定したデバイスにのみ表示] をタップして [周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示] にし、接続先のBluetooth機器でデバイスの検索を行ってください。

◆ Bluetooth通信画面の表示時間設定

1 ホーム画面で [設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Bluetooth設定]

2 [メニュー] ▶ [表示のタイムアウト] ▶ 時間を選択

◆ Bluetooth機器からのデータ受信

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 [Bluetoothで受信] で [OK] ▶ 通知パネルを開く ▶ [Bluetoothで受信] ▶ [受信する] ▶ [OK]

3 ホーム画面で [設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Bluetooth設定]

4 [メニュー] ▶ [受信済みファイル表示]

◆ Bluetooth機器との接続解除

1 ホーム画面で [設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Bluetooth設定]

2 Bluetooth機器をプレス ▶ [切断する]

◆ Bluetooth機器とのペアリング解除

1 ホーム画面で [設定] ▶ [通信の設定] ▶ [Bluetooth設定]

2 Bluetooth機器をプレス ▶ [ペア解除する]

◆ BluetoothLE設定

Bluetooth Low Energy対応機器との通知設定をします。

1 ホーム画面で [設定] ▶ [通信の設定] ▶ [BluetoothLE設定]

2 各項目を設定

Alert Notification : 電話着信やメール受信時などに対応機器に通知するかを設定します。

Find Me通知音 : 対応機器から通知を受けたときの音を設定します。

Proximity : 接続を解除したときの対応機器の通知レベルを設定します。

- 本設定を反映するには、再度対応機器との接続が必要です。

Time : Time対応機器と時刻の同期をするかを設定します。

- 本設定に関わらず、本端末とTime対応機器のペアリング中の時刻は同期します。本設定がオンの場合には、ペアリング完了後に本端末の時刻が変わった場合でも、Time対応機器の時刻は同期します。

✓お知らせ

- マナーモード、公共モードの設定に関わらず、BluetoothLE設定のFind Me通知音は鳴ります。

外部機器接続

◆本端末のデータをパソコンから操作

PC接続用USBケーブル T01 (別売) またはUSBケーブル O1 (別売) で本端末とパソコンを接続すると、本端末のデータをパソコンから操作できます。

- Windows XP (Service Pack 3以降)、Windows Vista、Windows 7、Windows 8に対応しています。ただし、すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

1 USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

- microSDカードを利用する場合は、ホーム画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [保存領域] ▶ [microSDカードをマウント] をプレスしてマウントします。
- 初めて接続する場合は操作2に進みます。2回目以降の接続の場合は操作3に進みます。

2 ステータス表示エリアをプレスして通知パネルを表示 ▶ [メディアデバイスとして接続] ▶ [メディアデバイス(MTP)] または [カメラ(PTP)]

- Windows XPでは [メディアデバイス(MTP)] を選択してください。[カメラ(PTP)] を選択するとデータを正しく表示できない場合があります。

3 プログラムを選択 ▶ プログラムの画面の表示に従って操作

4 目的の操作を行う

✓お知らせ

- 本端末を起動中やスリープモード中にパソコンと接続すると、SIMカードロック設定やセキュリティロック画面を設定している場合は、パソコンに本端末が認識されません。PINコードの入力やセキュリティロック画面を解除してから操作してください。

◆USBメモリのデータを操作

本端末とUSBメモリを周辺機器接続用USBケーブル (市販品) で接続すると、USBメモリ内のデータを本端末から操作できます。USBメモリ内のデータを閲覧・操作するには、あらかじめPlayストアからファイルマネージャーなどのアプリをダウンロードしておく必要があります。

- すべてのUSB機器との動作を保証するものではありません。
- ご使用になる周辺機器接続用USBケーブルについては、接続するUSB機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

1 本端末とUSBメモリーをそれぞれのコネクタ形状に合ったUSB接続ケーブルで接続する

- USBメモリがマウントされていない場合は、ホーム画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [保存領域] ▶ [USBメモリをマウント] をプレスします。

2 目的の操作を行う

- あらかじめダウンロードしたファイルマネージャーなどのアプリを起動して、USBメモリ内のデータにアクセスします。データの操作については、ダウンロードしたアプリにより異なりますので、アプリの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

※USBメモリの取り外し

1 ホーム画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [保存領域] ▶ [USBメモリのマウント解除]

2 USBメモリを接続したUSB接続ケーブルを本端末から取り外す

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

✓お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GSM）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

1 ホーム画面で[dマーケット]

✓お知らせ

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

しゃべってコンシェル

「調べたいこと」や「やりたいこと」などを本端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、dメニューの情報やサービス、または使いかたガイドの中から最適な回答を画面に表示します。

1 ホーム画面で[しゃべってコンシェル]

音声入力画面が表示されます。

- 初めて起動したときは、「ソフトウェア使用許諾契約書」を読んで「承諾」をプレスします。

2 [しゃべる]

3 してほしいことをマイクに向かって話す

- 話しかけてしばらくすると、回答画面が表示されます。表示された画面に従って操作します。
- 画面が変わらない場合は、「入力を完了する」をプレスします。

- 再度検索したい場合は、回答画面で「戻る」をプレスし、操作2の「しゃべる」をプレスしてください。

Playストア

Playストアを利用してGoogle Playのサイトへ接続すると、便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Playを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆アプリをインストール

1 ホーム画面で[Playストア]


Google Playの画面が表示されます。

2 アプリを検索▶アプリを選択

3 [インストール][無料アプリの場合]／[金額][有料アプリの場合]

- アプリによって表示される内容は異なります。
- アプリが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリにはご注意ください。この画面で「同意する」をタップすると、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うこととなります。有料アプリの場合、支払方法を設定していないときは「続行」をタップして支払方法を設定し、最後に「同意する」をタップします。
- 有料アプリの購入時はGoogleウォレットを利用できます。画面の指示に従って支払方法を設定してください。アプリの購入後、規定の時間内であれば返金を要求することができます（各アプリにつき1回のみ有効）。アプリ購入時の請求やキャンセルなどの詳細は、Google Play画面で「メニュー」→「ヘルプ」をタップしてご覧ください。

4 ダウンロードの進捗状況を確認

インストールが完了すると、ステータスバーにが表示されます。

✓お知らせ

- アプリのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリ一覧画面にインストールしたアプリのアイコンが表示されます。

◆ Google Playのアプリの削除

- 1 Google Play画面で[メニュー] ▶ [マイアプリ]
- 2 アプリを選択
- 3 [アンインストール] ▶ [OK]
 - 有料アプリで [アンインストールと払い戻し] が表示されない場合、試用期間が終了しています。

◆ Google Playのヘルプ

- 1 Google Play画面で[メニュー] ▶ [ヘルプ]

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、読み取り機に本端末をかざしてサイトやホームページなどの情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。

さらに、ネットワークを使って電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができます。

また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。
- 「iD」および「楽天Edy」など一部のおサイフケータイ対応サービスのみご利用になれます。
- 本端末でご利用いただけるおサイフケータイ対応サービスは、サービス一覧でご確認ください。

◆ iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。

iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなどでご利用いただけます。

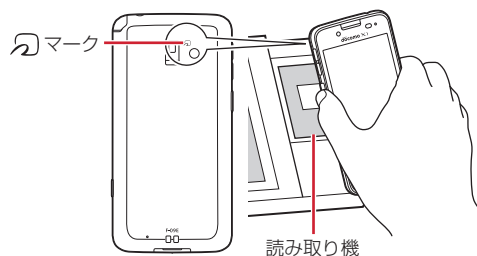
- iCお引っこしサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

◆ おサイフケータイのご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

◆「おサイフケータイ対応サービス」の利用設定

- 1 ホーム画面で[健康・ショッピング]を開く
▶[おサイフケータイ]
おサイフケータイのトップ画面が表示されます。
- 2 [サービス一覧]
- 3 サービスを選択 ▶[利用する]
 - おサイフケータイ初期設定が未完了の場合、画面の指示に従って初期設定を行ってください。
- 4 サービスに関する設定を行う
 - サービスのサイトまたはアプリから必要な設定を行います。
- 5 〇マークを読み取り機にかざす



✓お知らせ

- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本体の電源を切っても利用できますが、電池パックを取り付けていない場合は利用できません。電池パックを取り付けていても、本端末の電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。

◆読み取り機にかざす際の注意事項


- 〇マークを読み取り機にかざす際に、強くぶつけないようにご注意ください。
- 〇マークは読み取り機の中心に平行になるようにかざしてください。
- 〇マークを読み取り機にかざす際はゆっくりと近づけてください。
- 〇マークを読み取り機の中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。なお、〇マークは本端末の中心部ではなく外側カメラ付近にあるため、かざす位置にご確認ください。
- 〇マークと読み取り機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

◆おサイフケータイの機能をロック

おサイフケータイの機能をロックすると、本端末をかざしての利用や、おサイフケータイ対応アプリの利用ができなくなります。

- 1 ホーム画面で[健康・ショッピング]を開く
▶[おサイフケータイ]
- 2 [おサイフケータイをロックする]
 - 初めて起動したときはパスワードの設定が必要です。画面の指示に従って、パスワードを設定してください。
- 3 パスワードを入力 ▶[決定] ▶[完了]
- 4 [ロックする] ▶[OK]

✓お知らせ

- 「おサイフケータイ ロック設定」をご利用になると、ステータスバーに  (おサイフケータイ ロック設定中) が表示されます。
- 「おサイフケータイ ロック設定」ご利用中に電池が切れると、「おサイフケータイ ロック設定」が解除できなくなりますので、電池残量にご確認ください。電源が切れた場合は、充電後に「おサイフケータイ ロック設定」を解除してください。
- 「おサイフケータイ ロック設定」ご利用中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、ロック解除のパスワード入力が必要になります。
- おサイフケータイのロックパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。

❖ ロックの解除

- 1 ホーム画面で**[健康・ショッピング]**を開く
▶ **[おサイフケータイ]**
- 2 **[ロックを解除する]**
- 3 パスワードを入力 ▶ **[決定]** ▶ **[完了]**
- 4 **[解除する]** ▶ **[OK]**

◆ iDアプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイト（<http://id-credit.com/>）をご覧ください。

◆ トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは**[トルカ]**アプリに保存され、**[トルカ]**アプリを利用して表示、検索、更新ができます。

- トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

- 1 ホーム画面で**[健康・ショッピング]**を開く
▶ **[トルカ]**

- 初めて起動したときは、「ソフトウェア利用許諾契約」を読んで**[同意する]**をプレスし、画面の指示に従って初期設定を行うと、トルカ一覧が表示されます。

- 2 サービス（トルカ）を選択

- 初めて起動したときに表示されるサービスに加えて、トルカ一覧で**[メニュー]** ▶ **[サービス情報]** ▶ **[サービス一覧]**と操作することにより、ダウンロードしてご利用いただけるサービスがあります。

✓お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- iモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。読み取り機からの取得、更新、地図表示
- おサイフケータイロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- 重複チェックにチェックを付けている場合、保存済みトルカと同じトルカを読み取り機から重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したときは、チェックを外してください。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

テレビ

テレビ（ワンセグ）は、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。

また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人 デジタル放送推進協会
<http://www.dpa.or.jp/>

◆テレビのご利用にあたって

- テレビ（ワンセグ）は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送エリアに表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要な場合があります。

◆放送波について

テレビ（ワンセグ）は、放送サービスの1つであり、XiサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

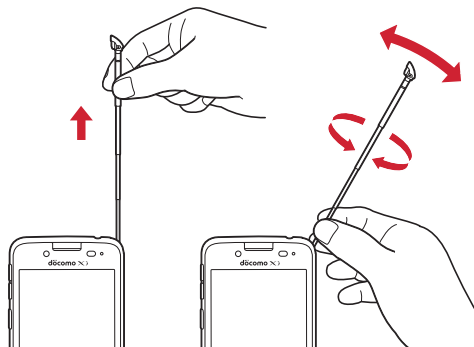
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビル影の陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

ワンセグアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

■ワンセグアンテナについて

テレビ（ワンセグ）を視聴するときは、ワンセグアンテナがワンセグの電波を受信します。

- ワンセグアンテナを引き出すときは、最後までしっかりと引き出してください。
- ワンセグアンテナの方向を変えるときはワンセグアンテナの根元近くを持って行います。無理に力を加えないでください。



- ワンセグアンテナを収納するときはワンセグアンテナの根元を持って止まるまで入れます。ワンセグアンテナの先端を持って収納しないでください。

◆テレビの起動

1 ホーム画面で[エンターテインメント]を開く▶[テレビ]

テレビ視聴画面が表示されます。

- 初めて起動したときは、「ソフトウェア使用許諾契約書」を読んで「同意する」をプレスし、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→p.62

✓お知らせ

- 起動時に最低限必要な電池残量は5%、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は2%です。
- テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声途切れたり、停止したりする場合があります。
- [動画補正]をオンにすると、高画質化エンジンを使用して視聴できます。→p.80
- テレビ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショットを実行した場合、黒画面で保存されます。